

FM文字多重内蔵マルチCD/MDコントロール
DSP チューナー CD/MD アンブ

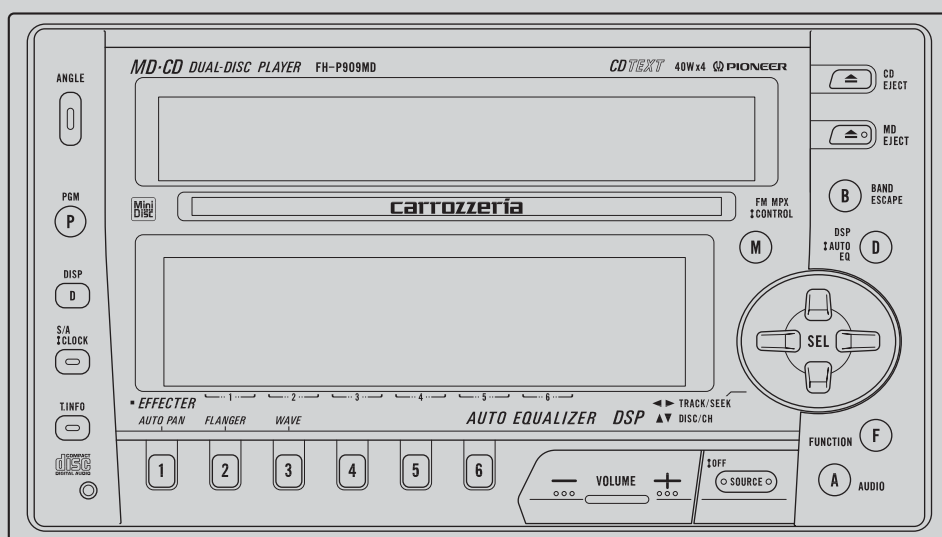
目次 4 ページ

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
なお、この取扱説明書は、保証書と一緒に必ず保管してください。
接続と取り付けは、別冊の取付説明書をご覧ください。



FH-P909MD



carrozzeria
by PIONEER

索引 86 ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

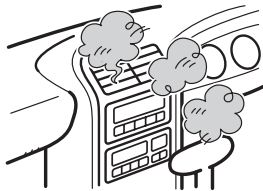
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

1章 はじめに

- 1-1 各部のなまえ 6
- 1-2 上手にお使いいただくために 8
- 1-3 マークと用語について 8
- 1-4 メインコントローラーを使う 9
- 1-5 本機を初期状態に戻す 9
- 1-6 操作の基本 10

2章 ここだけ読めばすぐ使えます

- 2-1 聞きたいソース (音源) を選ぶ 12
- 2-2 CDを聞く 13
 - CDをセットする
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する
- 2-3 MDを聞く 14
 - MDをセットする
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する
- 2-4 ラジオを聞く 15
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ
 - 音量を調節する
- 2-5 FM多重を見る 16
 - FM多重局を選ぶ
 - 番組を選ぶ
 - ページを選ぶ
- 2-6 マルチCDを聞く 18
 - CDを選ぶ
 - 曲を選ぶ
 - 早送り/早戻しをする
 - 音量を調節する
- 2-7 簡単なサウンド設定 19
 - SFCを選ぶ
 - グラフィックイコライザーを選ぶ
 - サウンドエフェクターを選ぶ

3章 内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

- 3-1 演奏方法を切り換える 20
- 3-2 MDの表示を切り換える 21
- 3-3 CDのタイトルを記憶させる 22
- 3-4 「CD TEXT」の表示を切り換える 23

4章 ラジオを聞く

- 4-1 複数の放送局を自動的に記憶させる 24
- 4-2 放送局を1局ずつ記憶させる 24
- 4-3 記憶させた放送局を呼び出す 25
- 4-4 モードの切り換えかた 25
- 4-5 2つのアンテナでFM放送を受信する 26
- 4-6 放送局名を表示させる 26
- 4-7 放送局名を記憶させる 27

5章 FM多重を見る

- 5-1 あとで見なおしたい画面を記憶させておく 28
- 5-2 記憶させた画面を見る 28
- 5-3 モードの切り換えかた 29
- 5-4 複数のFM多重局を自動的に記憶させる 30
- 5-5 受信中のFM多重局を記憶させる 30
- 5-6 記憶させたFM多重局を呼び出す 31
- 5-7 受信状態の良いFM多重局を自動的に受信させる 31
- 5-8 アイコンに番組を登録する 32
- 5-9 アイコンから番組を直接呼び出す 33
- 5-10 同じ系列 (番組内容) のFM多重局を受信する 33

6章 マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 6-1 聞きたいCDを直接選ぶ (6/12連奏) 34
- 6-2 だまかに選んでから
聞きたいCDを選ぶ (50連奏) 34
- 6-3 モードの切り換えかた 35
- 6-4 同じ曲やCDを繰り返し聞く 36
- 6-5 聞きたい曲やCDをさがす 37
- 6-6 いつもと違う曲順で聞く 38
- 6-7 聞きたい曲だけ記憶させておく 39
- 6-8 記憶させた曲だけ再生する 40
- 6-9 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す 41
- 6-10 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す 41
- 6-11 CDをグループ分けする (50連奏) 42
- 6-12 グループ別で再生する (50連奏) 43
- 6-13 CDをグループから消す (50連奏) 43
- 6-14 CDのタイトルを記憶させる 44
- 6-15 タイトルを見て聞きたいCDをさがす 45
- 6-16 タイトルの頭文字でCDをさがす (50連奏) 46
- 6-17 演奏頻度でCDを再生する (50連奏) 47
- 6-18 CDの音質を調整する 47
- 6-19 CD再生を一時停止する 48
- 6-20 選んだCDを取り出す (50連奏) 48
- 6-21 グループ分けされたCDの
グループを表示させる (50連奏) 49
- 6-22 「CD TEXT」のタイトルや歌手名の表示を切り換える 49

7章 音を調節する

- 7-1 オーディオ調節モードの切り換えかた50
- 7-2 小音量時の音にメリハリをつける51
- 7-3 各ソースの音量の違いをそろえる51
- 7-4 サブウーファーを使う52
- 7-5 サブウーファーを調節する53
- 7-6 前後左右の音量バランスを調節する53

8章 音場と音質を調節する

- 8-1 DSP調節モードの切り換えかた54
- 8-2 音場の中心で聞く54
- 8-3 音楽に合った音質を設定する55
- 8-4 曲に合わせてエフェクターをかける56
- 8-5 イコライザーカーブを細かく調節する57
- 8-6 イコライザーカーブを大まかに補正する58
- 8-7 イメージに合った演奏会場を再現する59
- 8-8 オートイコライジングを行う前に60
- 8-9 オートイコライジングの調節62

9章 便利な機能と初期設定

- 9-1 フロントパネルを見やすい角度に調節する ...64
- 9-2 日付と時間を表示させる64
- 9-3 表示を切り換える65
- 9-4 交通情報を受信する66
- 9-5 瞬時に音量を小さくする66
- 9-6 よく使う機能を学習させる67
- 9-7 FM放送の番組内容をFM多重で見る68
- 9-8 初期設定モードの切り換えかた69
- 9-9 RCA外部出力から出力される信号を選ぶ70
- 9-10 音の歪みを補正する71
- 9-11 日付と時間の設定71
- 9-12 夜間のディスプレイの明るさを切り換える ...72
- 9-13 FM放送の番組内容をFM多重で1行表示
するときの表示切り換え時間の設定72
- 9-14 外部機器の音声を聞く73
- 9-15 自動的に時刻を補正する74
- 9-16 キーガイド音声の設定74
- 9-17 FM多重用オートアンテナの設定75
- 9-18 テレビのときにオートアンテナをのぼす75

はじめに

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

ラジオを聞く

FM多重を見る

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

音場と音質を調節する

便利な機能と初期設定

その他 (付録)

10章 その他 (付録)

- 10-1 CDの正しい使いかた76
- 10-2 MDの正しい使いかた77
- 10-3 こんなメッセージが表示されたら78
- 10-4 故障かな?と思ったら80
- 10-5 保証書とアフターサービス82
- 10-6 おもな仕様83

1章

2章 ここだけ読めば すぐ使えます

3章

4章

5章

6章

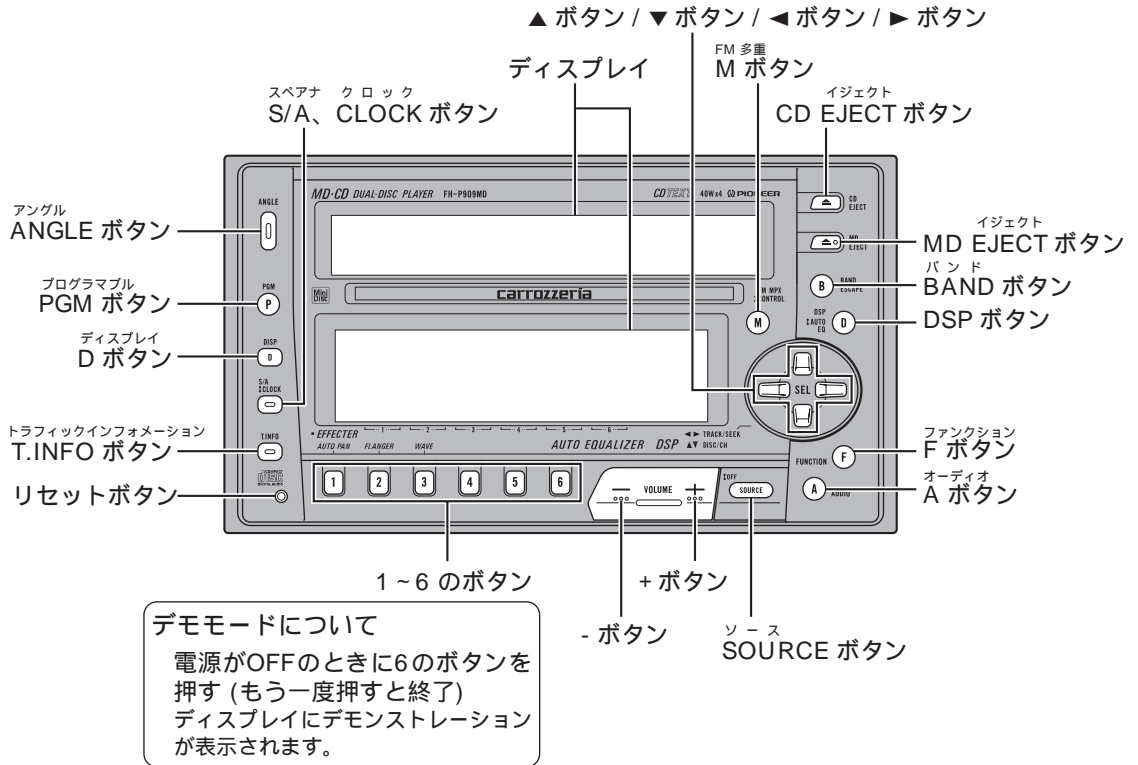
7章

8章

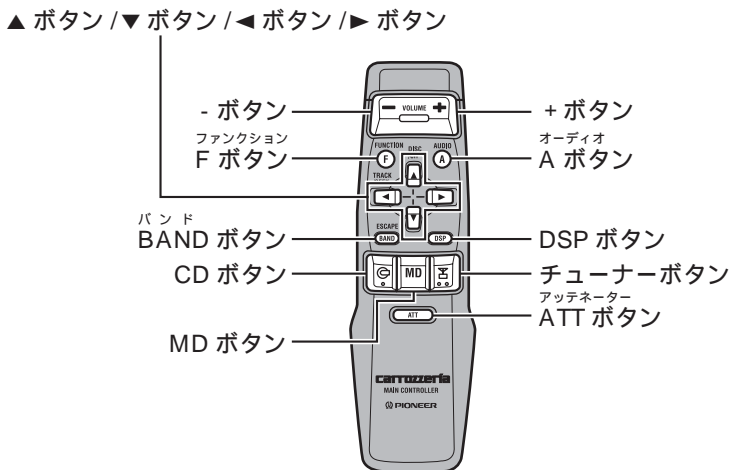
9章

10章

本体



メインコントローラー



ディスプレイ (下)

ステレオマーク
ステレオ放送を受信すると“**◻**”が表示されます。
AF 表示 (☞ 33 ページ)
FM 多重の AF 機能が、可能なときに“**AF**”が表示されます。
COMP/DBE 表示 (☞ 21,47 ページ)
COMP1 または COMP2 を選ぶと“**CMP**”が表示されます。
DBE1 または DBE2 を選ぶと“**DBE**”が表示されます。

下記の 3 つの表示は、パイオニア製の AV システムテレビ (「AVX-P505」など) と組み合わせたときの表示です。

手動選局表示
手動選局モードを選んでいるときに“**MANU**”が表示されます。

モノラル表示
モノラル受信をしているときに“**MONO**”が表示されます。

音声多重放送 (2カ国語放送) マーク
音声多重放送を受信すると“**Ⓞ**”が表示されます。受信している音声
が、主音声だけのときは“**M**”が、副音声だけのときは“**S**”が、主音
声と副音声のときは“**MS**”が表示されます。

キーガイド表示
操作可能なボタンが表示されます。
おもな表示と意味を以下に示します。

◀▶ ボタンでトラック、
▲/▼ ボタンでディスクを選
ぶことができます。

▲/▼ ボタンで機能の
ON/OFF ができます。また、
F ボタンで機能を切り換え
ることができます。

▲/▼ ボタンで機能の
ON/OFF ができます。また、
A ボタンで機能を切り換え
ることができます。

◀▶ ボタンで項目を選ぶこ
とができます。また、DSP
ボタンで機能を切り換える
ことができます。

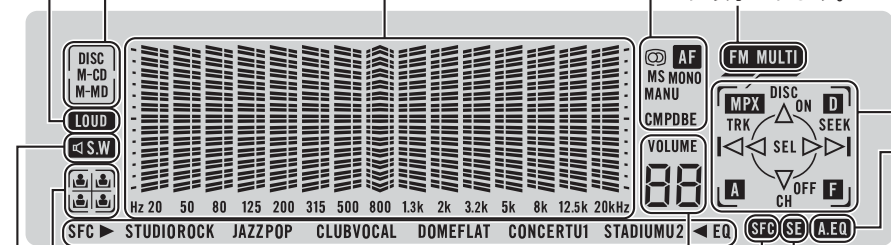
▲/▼/◀▶ ボタンで操作す
ることができます。また、
M ボタンで FM 多重操作
モードを解除することがで
きます。

ラウドネス表示 (☞ 50 ページ)
ラウドネスが ON のときに表示されます。

再生範囲表示 (☞ 36 ページ)
別売のマルチ CD やマルチ MD の再生範囲が表示されます。
(トラックリピートとオールリピートのときは何も表示され
ません。)

スペアナ表示 (☞ 65 ページ)
9 種類のスペアナが表示されます。

FM 多重
FM MULTI 表示
FM 多重を受信しているとき
に表示されます。



オートコライジング
A.EQ 表示
(☞ 55、62 ページ)
オートコライザーが
ON のときに表示され
ます。

ポジションマーク
(☞ 54 ページ)
リスニングポジション
セレクターの設定状況
が表示されます。

音量表示
現在の音量が表示されます。
サウンドフィールドコントロール
SFC 表示 (☞ 59 ページ)
サウンドフィールドコントロールが
設定されているに表示されます。

サウンドエフェクター
SE 表示 (☞ 56 ページ)
サウンドエフェクターが
設定されているときに表
示されます。

サブウーファー表示
(☞ 52 ページ)
サブウーファーが
ON のときに表示
されます。

サウンドフィールドコントロール
SFC モード表示
SFC モードのときに“**SFC ▶ STUDIO JAZZ CLUB DOME CONCERT STADIUM**”が表示され、
OFF 以外ときには選ばれている項目が点滅します。
イコライザーモード表示
グラフィックイコライザーモードのときに“**ROCK POP VOCAL FLAT U1 U2 ◀EQ**”が
表示され、選ばれている項目が点滅します。

1章-2 上手にお使いいただくために

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON (またはACC)にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

1章-3 マークと用語について

この説明書で使っている用語やマークの意味を解説します。

FM多重 (FM文字多重放送) について

この説明書では、FM文字多重放送のことをFM多重と省略して記載しています。同様に、FM文字多重放送局はFM多重局と記載しています。

FM多重 (例：見えるラジオ) では、番組情報やニュース、天気予報などを見ることができます。

本機では、CDやMDなど他のソースを聞きながらFM多重を見ることができます。(ラジオのAM放送を聞いているときはFM多重を見ることができません。また、ラジオのFM局とFM多重局は同じ放送局が選局されます。)

「CD TEXT」について



「CD TEXT」とは、ディスク名 / 歌手名 / 曲名などの文字情報が記録されたCDです。ディスクタイトル面に左記マークの付いているCDは「CD TEXT」です。(左記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)

マークについて

この説明書では、別売のマルチCDプレーヤーの枚数により異なる機能について、次のようなマークを使用しています。



6/12連奏 6/12連奏マルチCDプレーヤーを組み合わせただけ使える機能です。



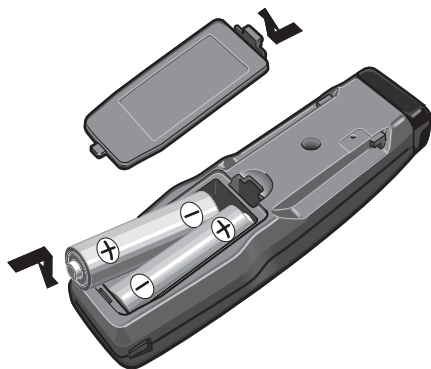
50連奏 50連奏マルチCDプレーヤーを組み合わせただけ使える機能です。

1章 4 メインコントローラーを使う

付属のメインコントローラーを使うための準備です。

メインコントローラーに電池を入れる

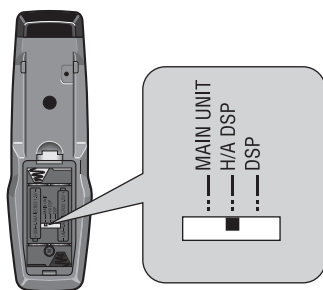
裏ボタンを開けて、単4形乾電池 (R03) 2本をセットします。



メインコントローラーの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

メインコントローラーのスイッチについて

メインコントローラーのスイッチは必ずH/A DSPの位置でご使用ください。他の位置で使用すると動作しません。



メインコントローラーの取り扱い上のご注意

メインコントローラーを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

本体に直射日光が当たっていると、メインコントローラーの操作ができないことがあります。このようなときは、本体にメインコントローラーを近づけて操作してください。

乾電池は充電できません。

メインコントローラーを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

1章 5 本機を初期状態に戻す

リセット

本機を初期状態に戻すことができます。

リセットについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態 (ご購入直後の状態) に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後

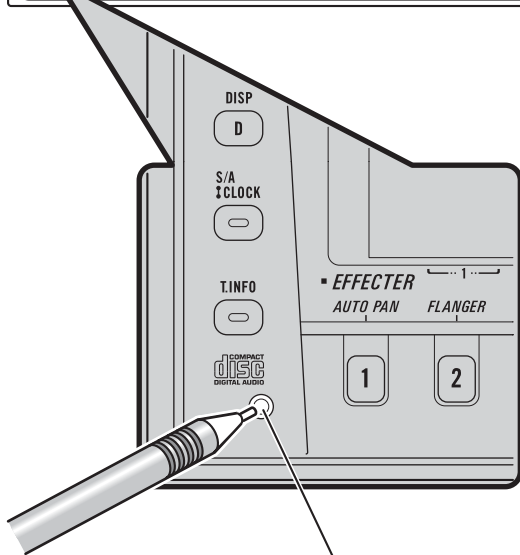
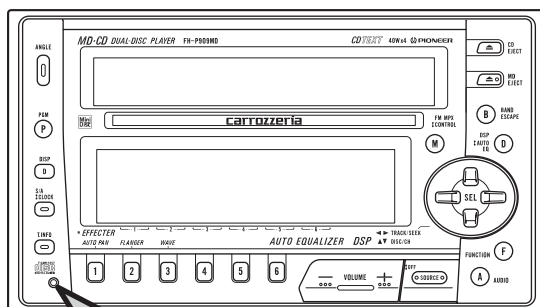
本機が正しく動作しないとき

ディスプレイが正しく表示されないとき

リセットボタンを押すと、本機の記憶 (時計やラジオのプリセットなど) が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

本機のマイコンが初期状態に戻ります。

1章

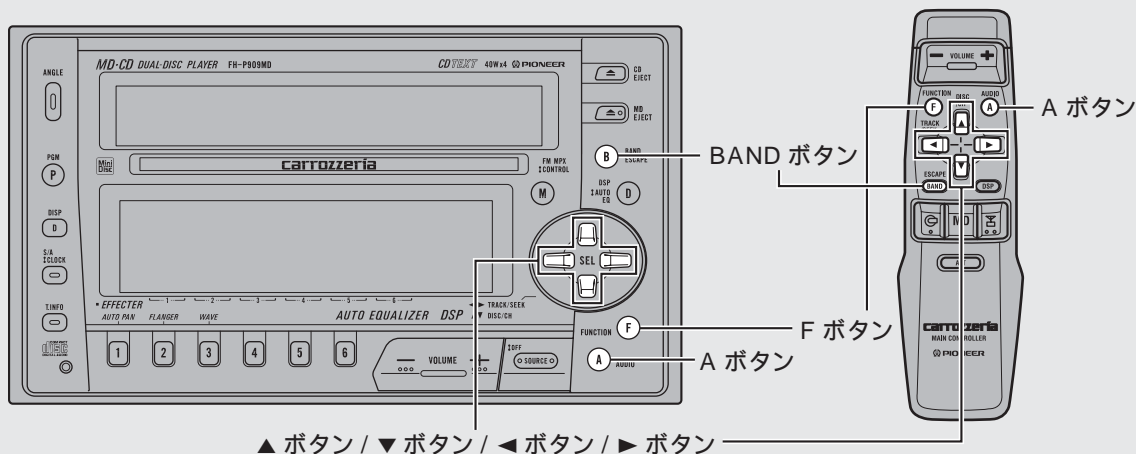
はじめに

1章 6 操作の基本

本機の操作の基本について説明します。本機を操作するときに、よく使うボタンなどについて説明しています。

ふだん使う機能の操作

ふだん使う機能は、次のボタンで操作します。



CDを聞いているとき

選曲、早送り/早戻しする

➡ ◀または▶ ボタンを押す

別のCDに切り換える
(別売のマルチCDを組み合わせているときのみ)

➡ ▲または▼ ボタンを押す

マルチCDを切り換える
(別売のマルチCDを2台以上組み合わせているときのみ)

➡ BANDボタンを押す

ラジオを聞いているとき

自動/手動選局する

➡ ◀または▶ ボタンを押す

記憶させた放送局を切り換える

➡ ▲または▼ ボタンを押す

バンド (FM/AM) を切り換える

➡ BANDボタンを押す

MDを聞いているとき

選曲、早送り/早戻しする

➡ ◀または▶ ボタンを押す

FM多重を見ているとき

見たい番組を選ぶ

➡ ◀または▶ ボタンを押す

選んだ番組の内容を見る

➡ ▼ ボタンを押す

メモ

本機では、ボタンが正しく押されると“ピッ”という音が出力されます。

便利な機能の操作

いろいろな機能を設定するために、本機には、大きく分けて5つのオペレーションモードがあります。▲/▼/◀/▶ボタンで機能の選択とON/OFFが操作できます。また、どのオペレーションモードでもBANDボタンを押すと解除できます。

1. ファンクションモード

各ソースでいろいろな演奏方法を設定できます。

基本操作方法

Fボタンを押して機能を選び、▲/▼/◀/▶ボタンで項目の選択またはON/OFFを設定します。

2. 詳細設定モード

CDのタイトル入力やラジオの放送局名記憶など本機を深く使いこなすための便利な機能の詳細設定ができます。

基本操作方法

Fボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して機能を選び、▲/▼/◀/▶ボタンで項目の選択またはON/OFFを設定します。

3. 初期設定モード

外部機器やディマーなどの設定ができます。

基本操作方法

電源がOFFのときにFボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して機能を選び、▲/▼/◀/▶ボタンで項目の選択またはON/OFFを設定します。

4. オーディオ調節モード

フェーダー/バランスやラウドネスなど音に関する調節ができます。

基本操作方法

Aボタンを押して機能を選び、▲/▼/◀/▶ボタンで項目の選択またはON/OFFを設定します。

5. DSP調節モード

SFCやグラフィックイコライザーなど音場と音質に関する調節ができます。

基本操作方法

DSPボタンを押して機能を選び、▲/▼/◀/▶ボタンで項目の選択またはON/OFFを設定します。

キーガイド音声について

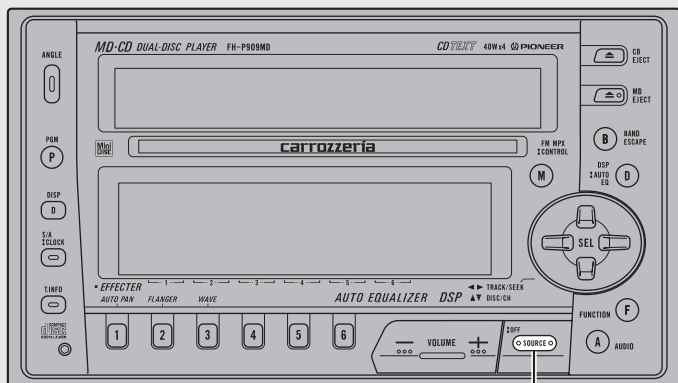
本機では、ファンクションモードなどで操作を行うと、行われた動作について音声で説明をします。

メモ

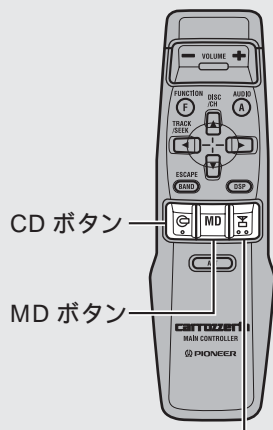
初期設定モードでの操作やPGMボタンを押したときなど、キーガイド音声による説明がされない操作もあります。キーガイド音声は、フロントスピーカー出力とフロントRCA外部出力から出力されます。フロントRCA外部出力から出力されるキーガイド音声は、途切れることがあります。キーガイド音声による説明がされないようにするには (☞ 9章・16 74ページ)

2章-1 聞きたいソース (音源) を選ぶ

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。



SOURCE ボタン



CD ボタン

MD ボタン

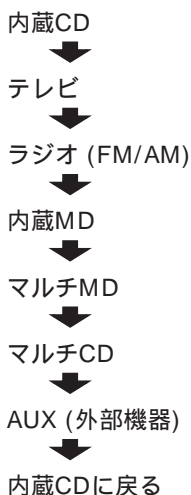
チューナーボタン

電源 OFF のとき押す ➡ 電源 ON
電源 ON のとき 1 秒以上押す ➡ 電源 OFF

本体で操作する

ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



メモ

接続していないソースには切り換わりません。
CDやMDがセットされていないときはそのソースには切り換わりません。
AUX (外部機器) の設定 (☞ 9章-14 73ページ) をONにしないと、AUXには切り換わりません。
FM多重を操作したいときは、FM多重操作モードに切り換えてください。 (☞ 2章-5 16ページ)

メインコントローラーで操作する

ソースを切り換える

CDを聞くとき
CDボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



MDまたはAUX (外部機器) を聞くとき
MDボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

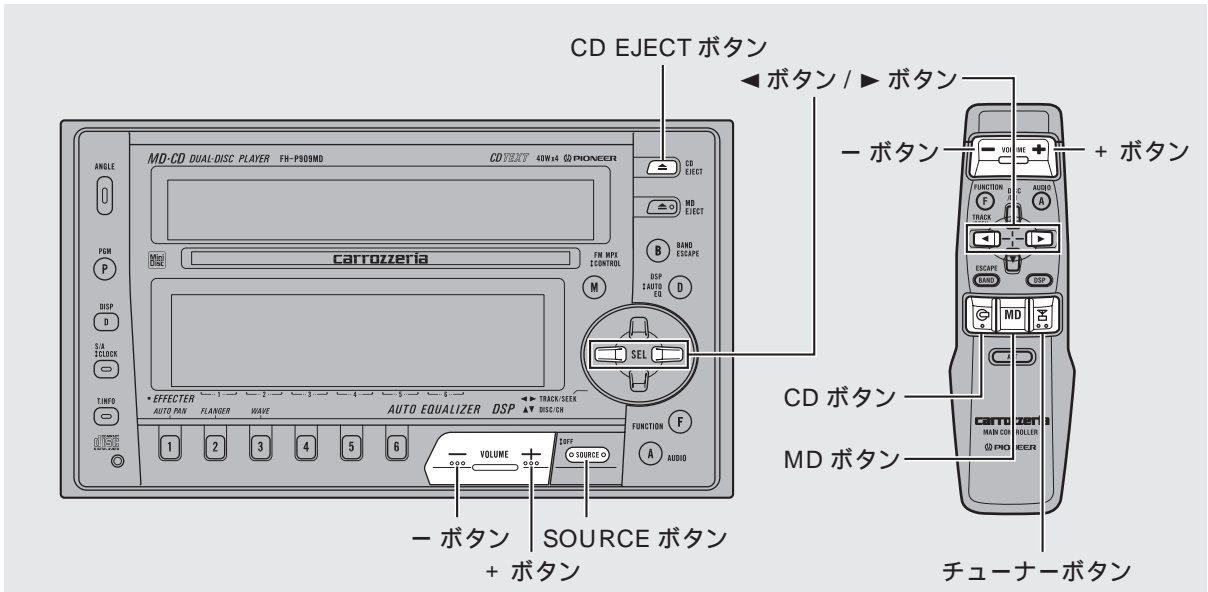


テレビまたはラジオを聞くとき
チューナーボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



2章 2 CDを聞く

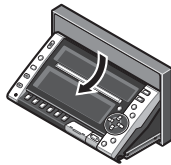
ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでCDを聞くことができます。



2章
ここだけ読めば
すぐ使えます

1 フロントパネルを CD挿入口まで開ける

CD EJECTボタンを押す



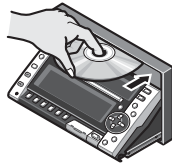
2 CDをセットする

タイトル面を上にして、CDを
CD挿入口に差し込む

ご注意

CDシングル(8 cm CD)もアダプター
なしでセットできます。アダプターは
絶対に使用しないでください。

フロントパネルが元の位置に戻り、自動的に再生が始
まります。



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶ(または曲の早送りをする)とき
- ◀ : 前の曲を選ぶ(または曲の早戻しをする)とき

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒以内
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し続けている間

4 音量を調節する

- + または - ボタンを押す
- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき

音量は0~40の範囲で調節できます。

5 CD再生をやめる

CDを取り出すとき

CD EJECTボタンを押す

フロントパネルが開き、CDが自動的に出てきて、電
源がOFFになります。もう一度、CD EJECTボタンを
押してフロントパネルを元の位置に戻してください。

他のソースに切り換えるとき

SOURCEボタンを押す

(メインコントローラーのチューナー、MDまたはCDボタ
ン、MDボタンを押して切り換えることもできます。)

電源をOFFにするとき

SOURCEボタンを1秒以上押す

(メインコントローラーのCDボタンを押してOFFに
することもできます。)

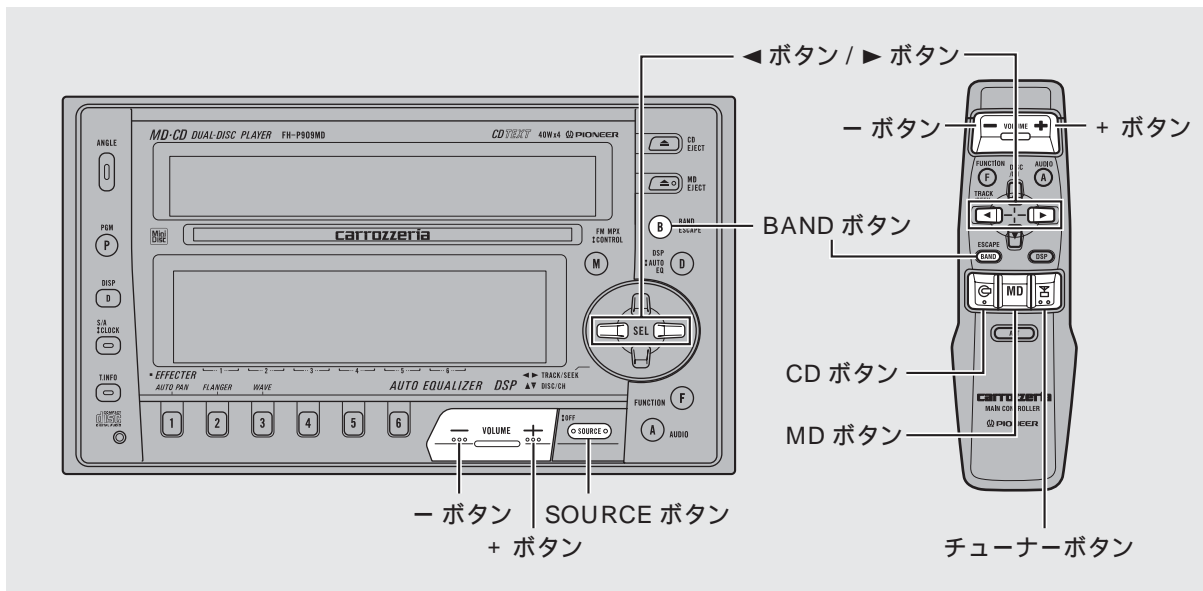


注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを
挟まないようにご注意ください。

2章 4 ラジオを聞く

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。



2章
ここだけ読めば
すぐ使えます

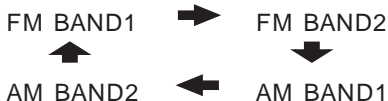
1 ソースをラジオにする

SOURCEまたはチューナーボタンを押す

2 バンドを選ぶ

BANDボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



3 放送局を選局する

◀または▶ボタンを押す

▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき

◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.3秒以内
自動選局	0.3秒 ~ 2秒の間
手動選局 (連続)	2秒以上押し続けている間

4 音量を調節する

+ または - ボタンを押す

+ : 大きくするとき

- : 小さくするとき

音量は0 ~ 40の範囲で調節できます。

5 ラジオの受信をやめる

他のソースに切り換えるとき

SOURCEボタンを押す

(メインコントローラーのCD、MD、またはチューナーボタンを押して切り換えることもできます。)

電源をOFFにするとき

SOURCEボタンを1秒以上押す

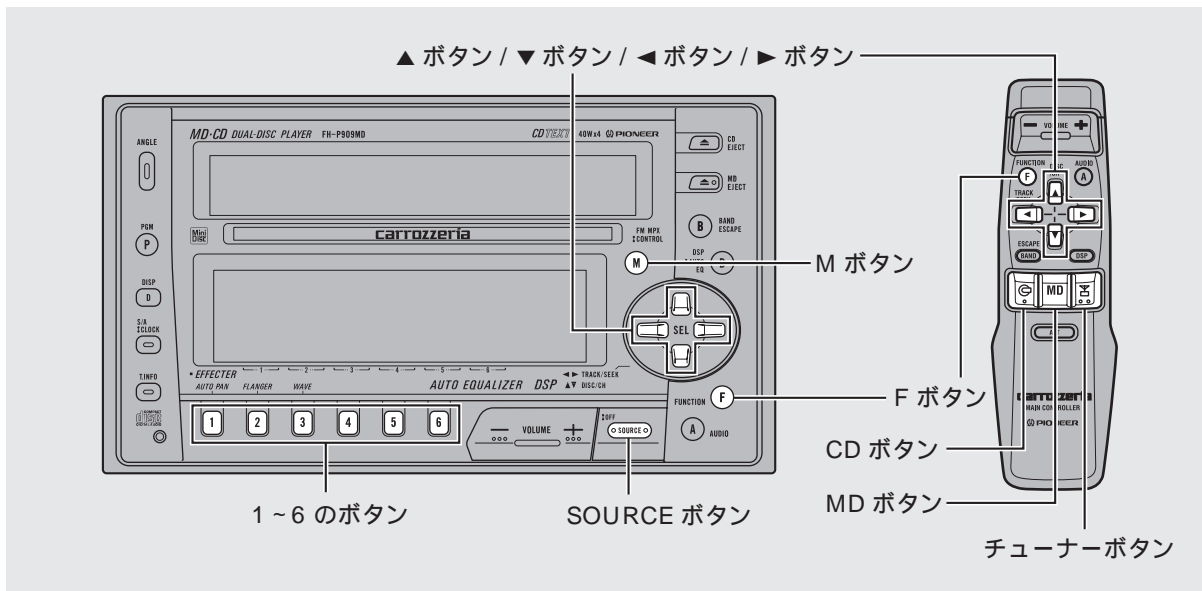
(メインコントローラーのチューナーボタンを押してOFFにすることもできます。)

メモ

電波の強い放送局を選局するときは、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するときは、手動選局をおすすめします。

2章-5 FM多重を見る

ここだけの操作で、FM多重を見ることができます。



1 電源をONにする

SOURCEボタンを押す

本機では、CDやMDなど他のソース（ラジオのAM放送と交通情報を除く）を聞きながらFM多重を見ることができます。

2 FM多重操作モードにする

Mボタンを1秒以上押す

データ読込中です

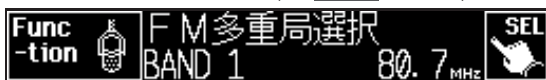
FM多重局を選局していなくても（データの受信ができなくても）表示されますが、次の手順3と手順4へ進んでFM多重局を選局してください。

見たいFM多重局をすでに選局している場合は、次の手順3と手順4の操作は必要ありません。手順5へ進んでください。

3 FM多重局選択モードにする

Fボタンを押して選ぶ

ボタンを押すごとに、ファンクションモードが切り換わるので、次の画面を表示させてください。ファンクションモードの詳細（※5章-3 29ページ）



4 FM多重局を選局する

◀または▶ボタンを押す

- ▶：高い周波数のFM多重局を選局するとき
- ◀：低い周波数のFM多重局を選局するとき



BANDボタンを押して、FM多重局選択モードを解除してください。

データ読込中です

データ受信中に表示されます。



目次（一番最初のページ）が表示されます。

メモ

電波の受信状態やデータ量によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

受信電波が弱い場合は、「データが受信できません」とメッセージが表示されたり、ページが正しく表示されないことがあります。受信状態の良い場所へ移動するか、他のFM多重局を選局してみてください。

5 見たい番組を選ぶ

直接選ぶとき

1～6のボタンの1つを押す

順番に選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

▶：次の番組を選ぶとき

◀：前の番組を選ぶとき

最初もしくは最後の番組を選ぶとき

◀または▶ボタンを2秒以上押す

▶：最後の番組を選ぶとき

◀：最初の番組を選ぶとき

1. ホンエア情報 2. リスト&チャート 3. ニュース
4. 天気 5. クラゲ情報 6. アラジン6区

選ばれている番組は反転表示されます。

メモ

番組名が隠れていることもあります。この場合◀または▶ボタンを押していくと、自動的に隠れている番組名の表示に切り換わります。(隠れている番組名の番号ボタンを押しても選ぶことができます。)

6 選んだ番組の内容を見る

▼ボタンを押す(▲ボタンで戻る)

1. ベーシック 2. レジャー 3. シーズン
4. 警報・地震

次の選択項目が表示されます。

番組によっては、次の選択項目がなく、すぐに情報が表示されることもあります。この場合は次の手順7の操作は必要ありません。

7 手順5、6を繰り返して、見たい情報を表示させる

情報は、複数のページで構成されています。(1ページのみの場合もあります。)

メモ

▲ボタンを2秒以上押すと、目次(一番最初のページ)に戻ります。

番組の選択操作は受信したデータに準拠しているため、放送局によっては、「▲ボタンで戻れない」など、操作が制限される場合があります。

情報が複数のページで構成されている場合、ページの途中から表示されたり、前後のページがメモリーされていない場合があります。このような場合は、しばらく待ってから◀または▶ボタンを押してページを切り換えてください。

8 選んだ情報の他のページを表示させる

順番に選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

▶：次のページを選ぶとき

◀：前のページを選ぶとき

最初もしくは最後のページを選ぶとき

◀または▶ボタンを2秒以上押す

▶：最後のページを選ぶとき

◀：最初のページを選ぶとき

例：[天気] [ベーシック]の情報

あす：☀ 0% H11℃
あさって：☀/☁

9 FM多重操作モードを解除する

Mボタンを押す

いま聞いているソースの表示に戻ります。

メモ

FM多重局が、表示させているページ(番組内容)を新しい内容に変更(更新)すると、「番組内容が更新されました」と約2秒間表示され、目次(一番最初のページ)が表示されます。

FM多重操作モードのときは、他のソースの操作はできません。

受信したページは、本機のメモリーに一時的に記憶されます。通常のページめくりは、このメモリー上で検索されます。

受信後すぐは、ページが表示されるまでに多少時間がかかりますが、メモリーに記憶されればページめくりがスムーズに行えるようになります。

受信状態が良いときは、新しいページデータがくると、メモリー上のページも自動的に更新されます。

FM多重局を選局しなおすと、前のFM多重局のメモリー内容はクリアーされます。

緊急放送について

大きな地震、台風、火災など、天災が発生したとき、特別な識別コードを持った緊急情報が放送されることがあります。

この緊急放送を受信すると、自動的にFM多重操作モードになり、緊急情報が表示されます。

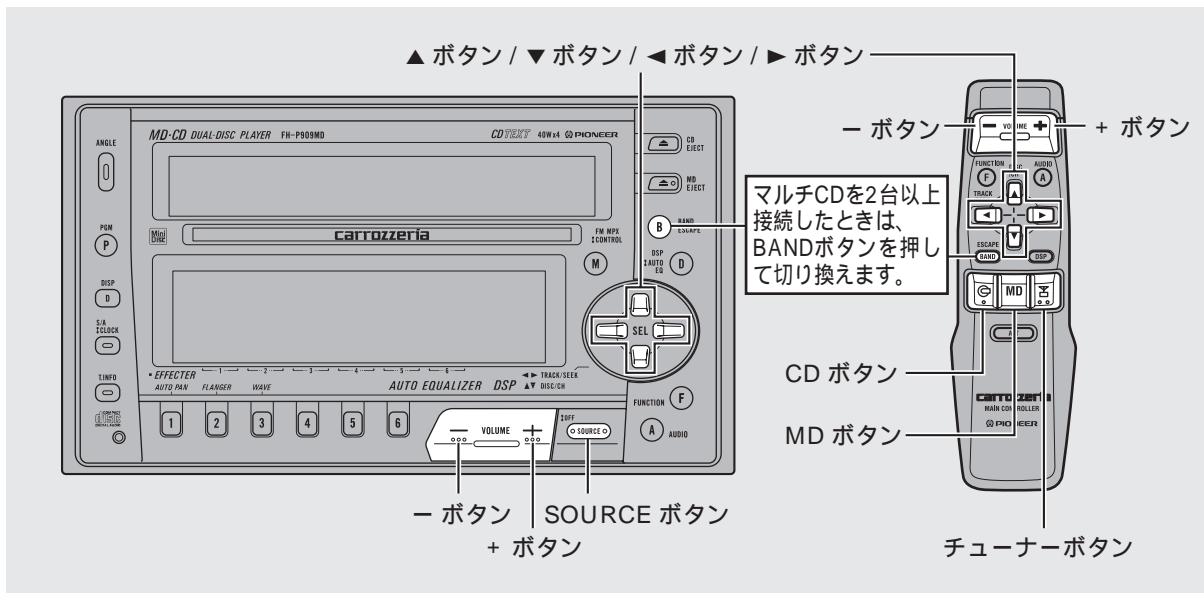


禁止

走行中は、運転者はFM多重を見たり、操作したりしないでください。前方不注意による事故の原因になります。

2章 -6 マルチCDを聞く

ここだけの操作で、別売のマルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。



1 ソースをマルチCDにする

SOURCEまたはCDボタンを押す
マルチCDの再生が始まります。



マルチCDを2台以上接続したときは、BANDボタンでマルチCDを選びます。

2 聞きたいCDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

- ▲：次のCDを選ぶとき
- ▼：前のCDを選ぶとき

3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ボタンを押す

- ▶：次の曲を選ぶ(または曲の早送りをする)とき
- ◀：前の曲を選ぶ(または曲の早戻しをする)とき

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒以内
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し続けている間

4 音量を調節する

- + または - ボタンを押す
- +：大きくするとき
- ：小さくするとき

音量は0～40の範囲で調節できます。

5 CD再生をやめる

他のソースに切り換えるとき

SOURCEボタンを押す

(メインコントローラーのチューナー、CD、またはMDボタンを押して切り換えることもできます。)

電源をOFFにするとき

SOURCEボタンを1秒以上押す

(メインコントローラーのCDボタンを押してOFFにすることもできます。)

メモ

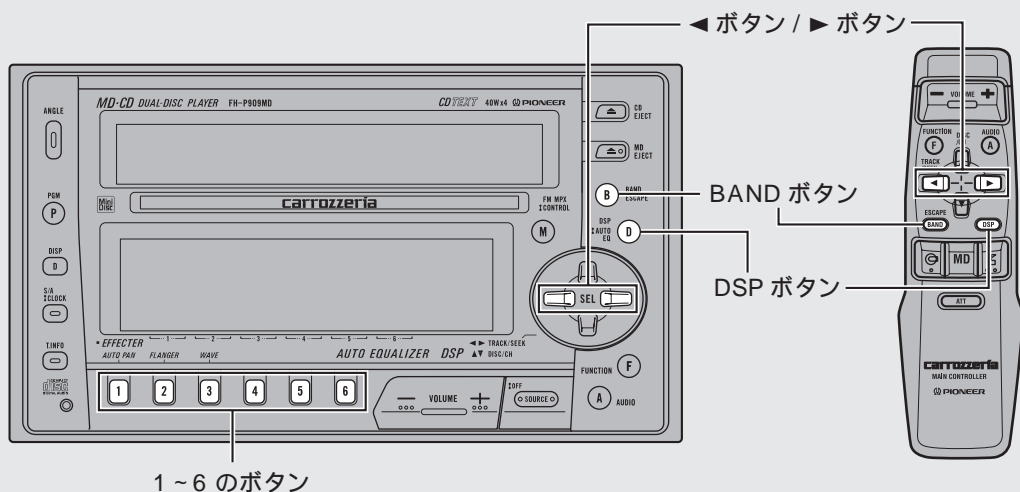
別売のIP-BUS拡張アダプター(「CD-P33」など)を使うと、複数のマルチCDプレーヤーを接続できます。

ディスプレイに次の文字が表示されたら

READY : 準備動作中です。

NO.MAGAZINE : マルチCDにマガジンが入っていません。

ここだけの操作で、簡単にサウンド設定を行うことができます。



1 DSP調節モードを切り換える

DSPボタンを押して選ぶ

ボタンを押すごとにDSP調節モードが切り換わるので、次の、簡単にサウンド設定が行えるモードの中から、設定したいモードを選んでください。詳しくは(※ 8章-1 54ページ)

SFCモード



グラフィックイコライザーモード



サウンドエフェクターモード



2 サウンドを設定する

直接呼び出す

1~6のボタンの1つを押す

サウンドエフェクターは1~3のボタンで選んでください。

順番に呼び出す

◀または▶ボタンを押して選ぶ

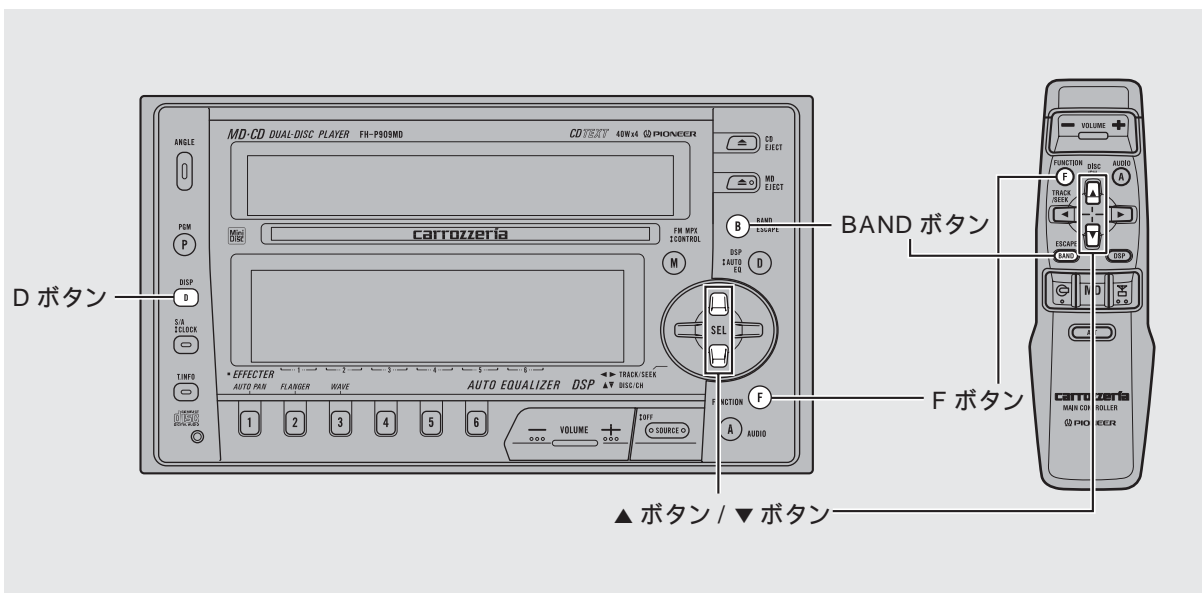
BANDボタンを押して、DSP調節モードを解除してください。

メモ

SFCの詳細(※ 8章-7 59ページ)

グラフィックイコライザーの詳細(※ 8章-3 55ページ)

サウンドエフェクターの詳細(※ 8章-4 56ページ)



3章 -1 演奏方法を切り換える

内蔵のCD/MDプレーヤーで演奏方法を切り換えて聞くことができます。

1 ファンクションモードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生範囲切換モード



ランダムプレイ設定モード



スキャンプレイ設定モード



ポーズ設定モード



コンプレッション設定モード (CDのみ)



再生範囲切換モードに戻る

コンプレッション設定モード以外を選んだとき

2 選んだ演奏方法をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)

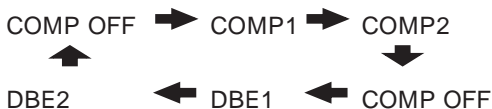
BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

コンプレッション設定モードを選んだとき

2 選んだ演奏方法を切り換える

▲または▼ボタンを押して選ぶ

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



COMP1、COMP2、DBE1、またはDBE2を選ぶと、ディスプレイ (下) のCOMP/DBE表示 (1章-1 7ページ) の“CMP”または“DBE”が表示されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

3章 2 MDの表示を切り換える

MDに入力されているタイトルを表示させることができます。

表示を切り換える

Dボタンを押す

ボタンを押すごとにディスプレイが切り換わります。

ディスクタイトル表示



トラックタイトル表示



メモ

ディスクタイトルやトラックタイトルが10文字を越えるときは、Dボタンを2秒以上押してください。隠れている文字が順番に表示されます。

ディスクタイトルが入力されていないMDでディスプレイをディスクタイトル表示に切り換えると、“NO DISC TITLE”が約4秒間、点滅表示されます。また、トラックタイトルが入力されていないトラックでディスプレイをトラックタイトル表示に切り換えると、“NO TRACK TITLE”が約4秒間、点滅表示されます。

本機では、MDにディスクタイトルやトラックタイトルを入力することはできません。

3章

内蔵CD / MDでCD / MDを聞く

ファンクションモードについて

再生範囲切換モード

いま聞いている曲を繰り返し再生します。

ランダムプレイ設定モード

選曲を内蔵CDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

スキャンプレイ設定モード

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々と再生していきます。聞きたい曲が再生されたらスキャン再生を解除してください。(スキャン再生を始めて30秒たつと、スキャンプレイ設定モードが自動的に解除されます。この場合、再度スキャンプレイ設定モードに切り換えてから、スキャン再生を解除してください。)

ご注意

スキャン再生は、スキャン再生を始めた曲まで戻ると、自動的に解除されます。

ポーズ設定モード

CD/MD再生を一時停止します。初期設定では、PGMボタン (9章・6 67ページ) に、この機能が学習されています。

コンプレッション設定モード (CDのみ)

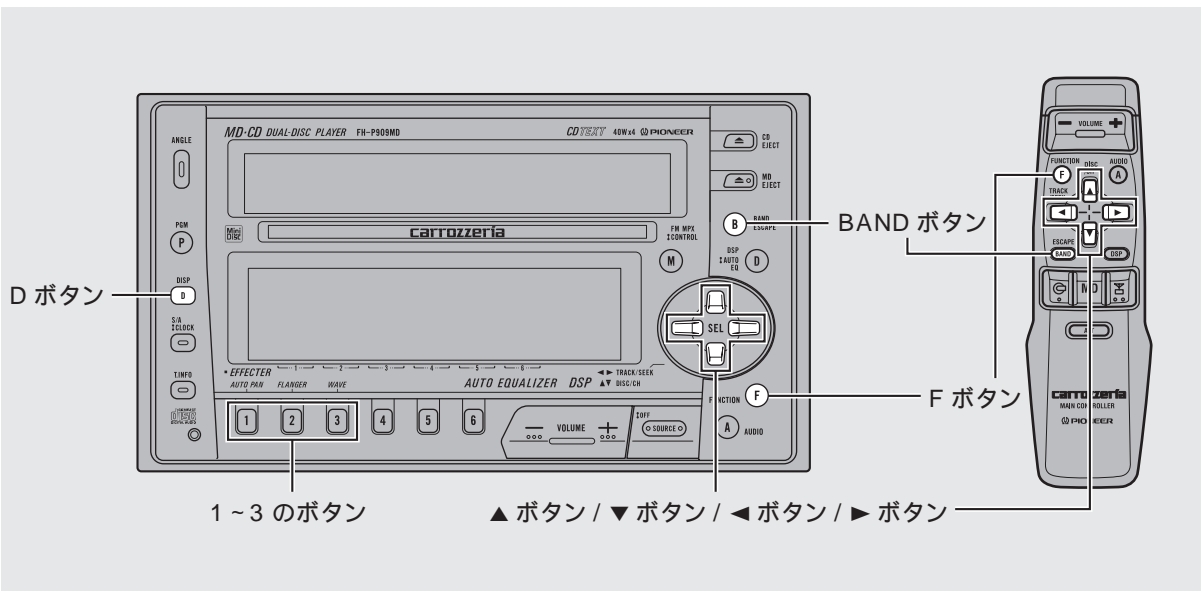
大きな音と小さな音の音量差を小さくしたいときや、低音域を押し上げたいときに選択してください。COMPもDBEも2段階に切り換えられますが1より2のほうが、より効果があります。

COMPについて

COMPとは、COMPression (コンプレッション) の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。



3章 3 CDのタイトルを記憶させる

タイトル記憶

CDのタイトルを表示させるために、タイトルを入力できます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

「CD TEXT」には、タイトルを入力することはできません。

タイトルは10文字まで入力できます。

タイトルは、CD48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。また、そのCDをマルチCDにセットしたときもタイトルを表示させることができます。

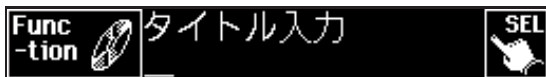
マルチCDを組み合わせて使うときは、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

(参照 2章-2 13ページ)

2 タイトル入力モードにする

Fボタンを2秒以上押す



ご注意

「CD TEXT」にはタイトルを入力することはできません。このため、「CD TEXT」を再生中にFボタンを2秒以上押しても、タイトル入力モードには切り換わりません。

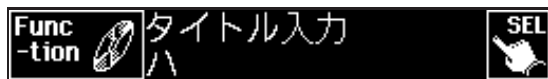
3 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

▲：次の文字を選ぶとき

▼：前の文字を選ぶとき



選ばれている文字が点滅します。

選べる文字は、下記のように切り換わります。

押すボタン	：選べる文字
1のボタン	：アルファベットの小文字(a-z)、空白()
↓	
1のボタン	：アルファベットの大文字(A-Z)、数字(0-9)、記号(!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\] ^ _ { })、空白()
2のボタン	：数字(0-9)、記号(!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\] ^ _ { })、空白()
3のボタン	：カタカナ(ア~ン)、ハイフン(-)、空白()
↓	
3のボタン	：拗促音、濁点、半濁点(アイウエオヤヨヅッ°)、空白()
	：(ボタンを押すごとに切り換わります。)

3章 - 4 「CD TEXT」の表示を切り換える

「CD TEXT」に入力されているアーティスト (歌手) 名やトラックタイトルを表示させることができます。

表示を切り換える

Dボタンを押す

ボタンを押すごとにディスプレイが切り換わります。

例：



ディスクタイトル表示



ディスクアーティスト (歌手) 名表示



トラックタイトル表示



ディスクタイトル表示に戻る

メモ

ディスクタイトルなどが10文字を越えるときは、Dボタンを2秒以上押してください。隠れている文字が順番に表示されます。

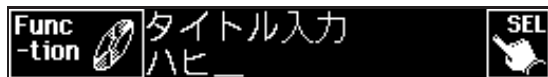
トラックアーティスト (歌手) 表示には、切り換えることができません。

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

▶：右に移動させるとき

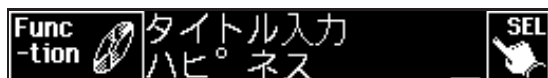
◀：左に移動させるとき



選ばれている位置が点滅します。

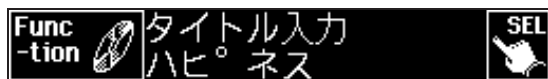
10文字まで入力できます。

4 入力が終わったら
10文字目を点滅させる



5 入力したタイトルを記憶する

▶ボタンを押す



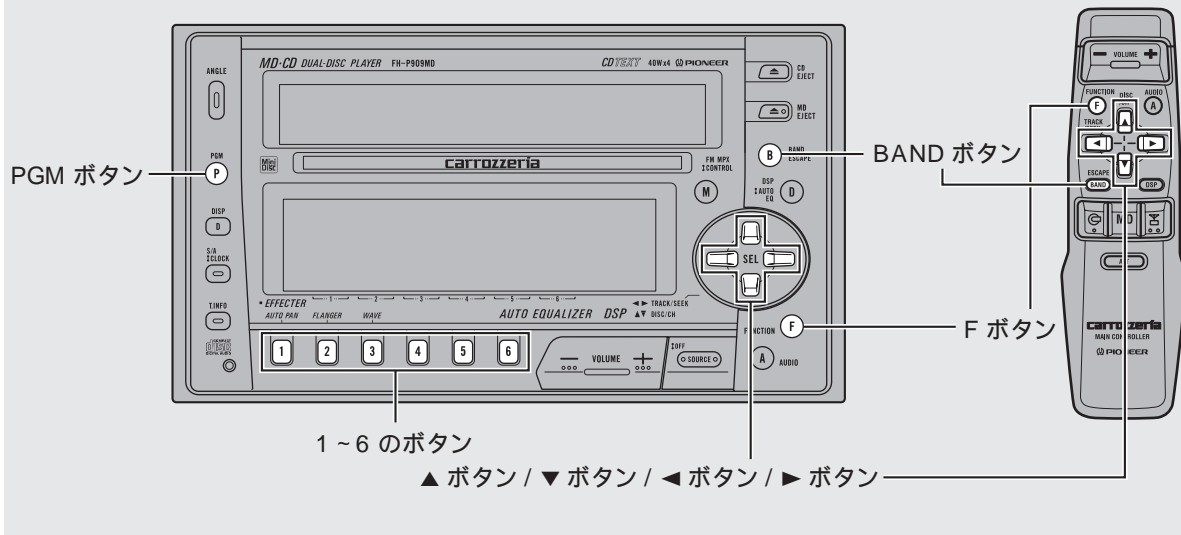
入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBANDボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

タイトルを入力すると、通常表示のときに表示されるようになります。



4章-1 複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1~6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BANDボタンを押す

2 BSMを始める

PGMボタンを2秒以上押す
(PGMボタンで途中解除)



“ベストステーションズ検索中”が点滅します。



記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。
記憶させた放送局を呼び出すには (※ 4章-3)
ラジオでは、PGMボタンにBSM以外の機能を学習させることはできません。
BSMは、ファンクションモードで操作することもできます。

4章-2 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1~6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BANDボタンを押す

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ボタンを押す

(※ 2章-4 15ページ)

3 記憶させる

1~6のボタンの1つを2秒以上押す



1のボタンを押した場合、記憶動作中は“1ch”の“1”が点滅します。

記憶が終わると点滅が終わり、受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (※ 4章-3)

4章-3 記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BANDボタンを押す

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す
1～6のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

▲または▼ボタンを押す

▲：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



4章-4 モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

Fボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

放送局名選択モード (☞ 4章-7 27ページ)

ラジオの放送局名を表示させる (☞ 4章-6 26ページ) ために、あらかじめ放送局名を記憶させておきます。



ダイバーシティ設定モード (☞ 4章-5 26ページ)

FMダイバーシティをお使いのときは、ダイバーシティの設定をONにします。(FM放送を聞いているときだけ切り換わります。)



プログラムファンクション設定モード

(☞ 9章-6 67ページ)

よく使う機能をソースごとに、PGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。

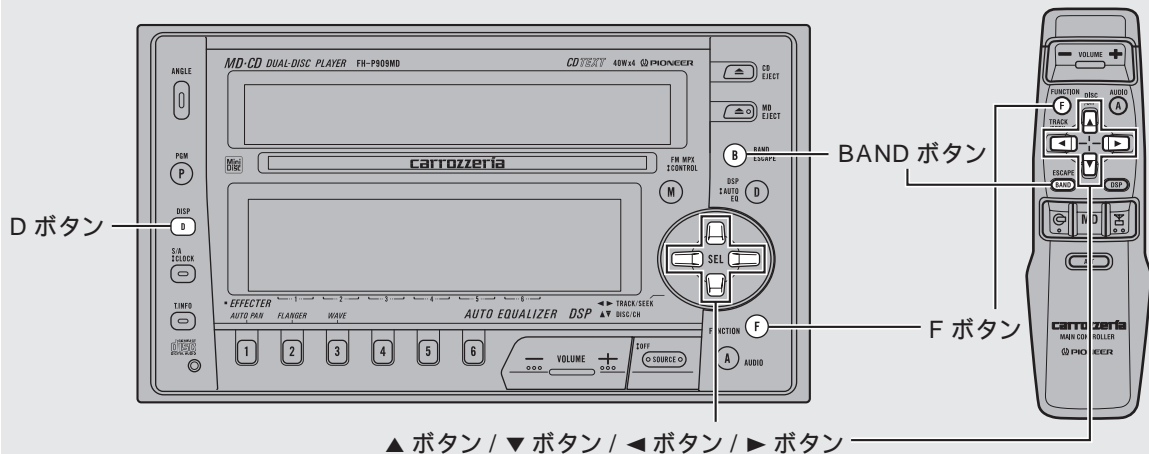


放送局名選択モードに戻る

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

4章

ラジオを聞く



▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

4章-5 2つのアンテナでFM放送を受信する

ダイバーシティ

FMダイバーシティをお使いのときは、ダイバーシティの設定をONにします。ONにすると、メイン用アンテナの受信感度が悪いときは、自動的にサブ用アンテナに切り換えて受信します。

ダイバーシティについて

FMダイバーシティは、FM放送を2つのアンテナで受信するものです。メイン用アンテナの受信感度が悪いときは、サブ用アンテナに切り換えて受信します。FM放送を1つのアンテナで受信するときは、FMダイバーシティをOFFでお使いください。ONで使うと、感度が悪くなったり、雑音が増加したりすることがあります。

1 ダイバーシティ設定モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 4章-4 25ページ)



2 ダイバーシティの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

4章-6 放送局名を表示させる

放送局名表示

放送局名記憶 (※ 4章-7) で記憶させた放送局名を、表示させることができます。

表示を切り換える

Dボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

FM多重放送局名表示



放送局名表示



メモ

放送局が記憶されていない周波数では、放送局名表示に切り換えても放送局名は表示されません。放送局名を記憶させるには (※ 4章-7)

FM多重局から、FM多重放送局名を受信したときだけFM多重放送局名を表示することができます。(FM多重局によっては、FM多重放送局名が送信されない場合があります。)

ラジオの放送局名を表示させる (※ 4章-6) ために、あらかじめ放送局名を記憶させておきます。

放送局名表示について

放送局名表示は、受信中の周波数に該当する放送局名を記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

FMで12局分、AMで12局分記憶することができます。

それぞれのバンドで記憶できる局数を超えたときは、いちばん古い記憶が消されます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BANDボタンを押す

2 表示させたい放送局を選局する

◀または▶ボタンで選ぶ (※ 2章-4 15ページ)

3 放送局名選択モードにする

Fボタンを2秒以上押す (※ 4章-4 25ページ)



4 放送局名を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶ : 次の放送局名を選ぶとき

◀ : 前の放送局名を選ぶとき



選ばれている放送局名が点滅します。

ご注意

本機に登録されていない放送局名は選べません。

5 放送局名を記憶する

▲ボタンを押す

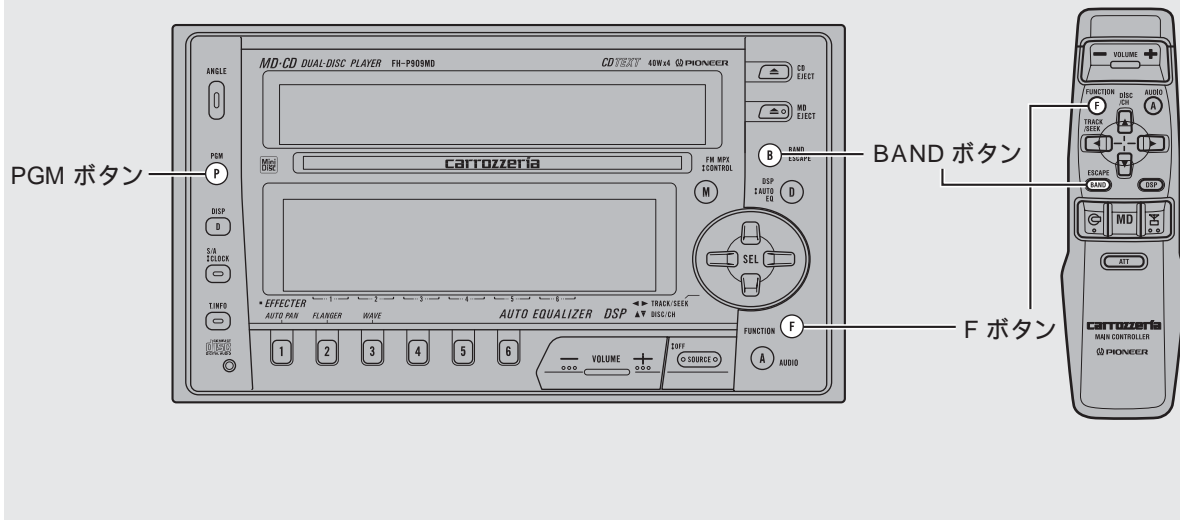


BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD (「CDX-FM633S」など) をお使いの方は、モジュレーター周波数にあわせると、“FM M-CD”の放送局名を選ぶことができます。



5章-1 あとで見なおしたい画面を記憶させておく

画面記憶

「あとでゆっくり見なおしたい」画面そのものを6個まで記憶させておくことができます。

画面を一時的に記憶させておく

記憶させたい画面が表示されたら、PGMボタンを2秒以上押す



いま表示されている画面が、記憶されます。

メモ

6個を超えたときは、一番古い画面が消されて、新しい画面が記憶されます。

記憶させた画面を見るには (☞ 5章-2)

FM多重を見る (☞ 2章-5 16ページ)

5章-2 記憶させた画面を見る

あらかじめ記憶させておいた画面 (☞ 5章-1) を見なおすことができます。

記憶させた画面を見る

PGMボタンを押して選ぶ
押すごとに記憶させた画面が切り換わります。



メモ

約8秒間何も操作をしなかったときは、自動的に表示が解除されます。

画面が1個も記憶されていないときは、“メモリーがありません”と約2秒間表示されます。

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

ファンクションモードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

アイコン呼び出しモード (☞ 5章-9 33ページ)

アイコンに登録 (☞ 5章-8 32ページ) した番組を、目次を通さずに、直接呼び出すことができます。



FM多重局選択モード (☞ 2章-5 16ページ)

受信状態の良いFM多重局をさがして、自動的に受信できます。(FM多重局を選ぶときは、このモードに切り換えてください。)



FM多重局BSM設定モード (☞ 5章-4 30ページ)

受信状態の良いFM多重局をさがして、自動的に記憶させることができます。1~6のボタンに、受信状態の良い順に記憶されます。



アイコン呼び出しモードに戻る

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

ファンクションモードを解除するには、BANDボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

Fボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

アイコン登録モード (☞ 5章-8 32ページ)

アイコンに番組を登録すると、その番組を簡単に呼び出すことができます。(☞ 5章-9 33ページ)



FM多重局オートサーチ設定モード (☞ 5章-7 31ページ)

CDやMDなど(ラジオのFM/AM放送や交通情報を除く)を聞いている場合、選局しているFM多重局の受信ができない状態が続いたときに、自動的に受信状態の良いFM多重局を選局するように設定することができます。



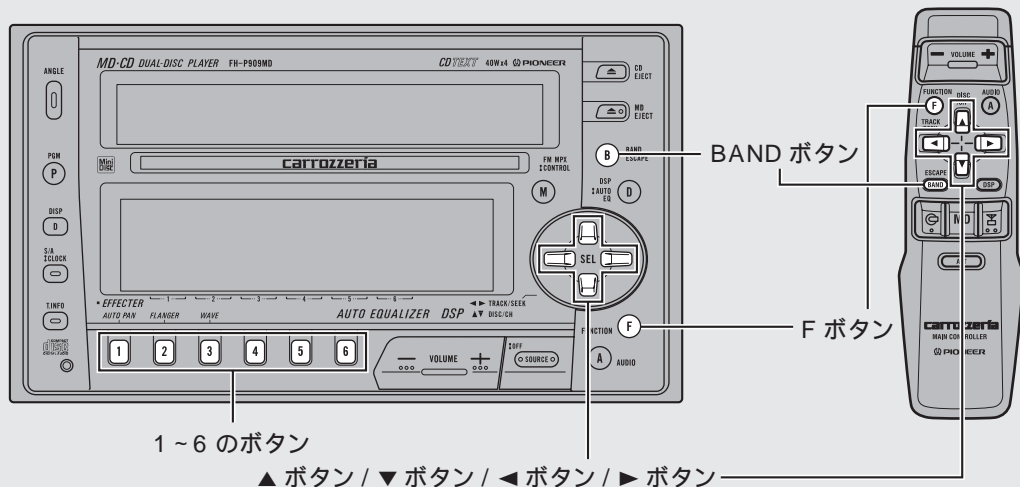
AFサーチ設定モード (☞ 5章-10 33ページ)

受信しているFM多重局の受信状態が悪くなったときに、同じ系列(同じ番組内容)の他のFM多重局を受信することができます。



アイコン登録モードに戻る

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



1 ~ 6 のボタン

▲ ボタン / ▼ ボタン / ◀ ボタン / ▶ ボタン

5章-4 複数のFM多重局を自動的に記憶させる

FM多重局BSM

受信状態の良いFM多重局をさがして、自動的に1~6のボタンに記憶させることができます。

1 FM多重局BSM設定モードにする

Fボタンを押して選ぶ (☞ 5章-3 29ページ)



2 記憶を始める

▲ボタンを押す (▼ボタンで途中解除)



“ベストステーションズ検索中” が点滅します。

記憶が終わると、1のボタンに記憶したFM多重局を受信します。

メモ

受信状態の良いFM多重局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー) の略です。

記憶させたFM多重局を呼び出すには (☞ 5章-6)

5章-5 受信中のFM多重局を記憶させる

FM多重局プリセットメモリー

1~6のボタンに、お好みのFM多重局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。

1 FM多重局選択モードにする

Fボタンを押して選ぶ (☞ 5章-3 29ページ)



2 記憶させたいFM多重局を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶: 高い周波数のFM多重局を選ぶとき

◀: 低い周波数のFM多重局を選ぶとき



3 記憶させる

1~6のボタンの1つを2秒以上押す



1のボタンを押した場合、記憶動作中は“1ch”の“1”が点滅します。

記憶が終わると点滅が終わり、受信中のFM多重局が記憶されます。

メモ

記憶させたFM多重局を呼び出すには (☞ 5章-6)

受信状態の良いFM多重局を、1~6のボタンに、一度に記憶させることもできます。(☞ 5章-4)

記憶させたFM多重局を
呼び出す

FM多重局プリセットチューニング

記憶させたFM多重局は、簡単に呼び出して、受信することができます。

1 FM多重局選択モードにする

Fボタンを押して選ぶ (☞ 5章・3 29ページ)



2 記憶させたFM多重局を呼び出す

1~6のボタンの1つを押す



押したボタンに記憶されているFM多重局が呼び出されます。

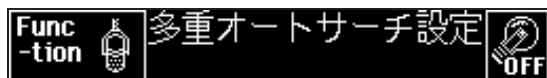
受信状態の良いFM多重局を
自動的に受信させる

FM多重局オートサーチ

CDやMDなど(ラジオのFM/AM放送や交通情報を除く)を聞いている場合、選局しているFM多重局の受信ができない状態が続いたときに、自動的に受信状態の良いFM多重局を選局するように設定することができます。

1 FM多重局オートサーチ設定モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (☞ 5章・3 29ページ)

2 FM多重局オートサーチの設定を
ONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



FM多重局オートサーチのレベルが反転表示されます。

3 FM多重局オートサーチのレベルを調節する

◀または▶ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

L (低感度) : 約60秒間受信できない状態が続くとFM多重局オートサーチを開始します。



M (中感度) : 約35秒間受信できない状態が続くとFM多重局オートサーチを開始します。



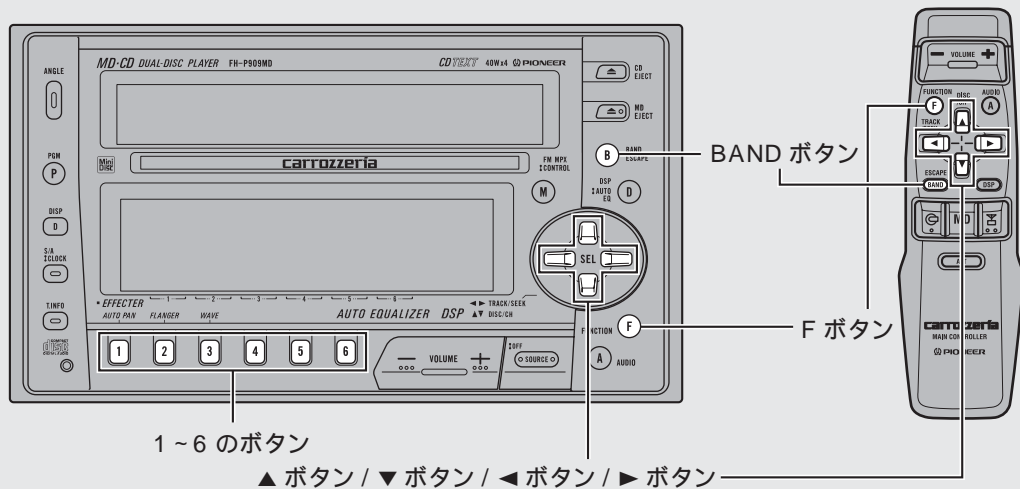
H (高感度) : 約10秒間受信できない状態が続くとFM多重局オートサーチを開始します。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

FM多重局オートサーチは、FM多重操作モードのときは動作しません。

FM多重局オートサーチを行っているときは、FM MULTI表示 (☞ 1章・1 7ページ) が点滅します。さらに、FM放送番組内容表示 (☞ 9章・7 68ページ) をしているときは、“多重局サーチ中です”と表示されます。



5章 - 8 アイコンに番組を登録する

アイコン登録

アイコン (番組マーク) に番組を登録すると、その番組を簡単に呼び出すことができます。(※ 5章-9)

アイコン登録について

FM多重局をさらに細かく分類し、番組単位で、アイコンに登録することができます。

1 登録したい番組の情報を表示させる

FM多重局を受信して、その情報を表示させます。(※ 2章-5 16ページ)

例: [天気] [ベーシック]の情報



2 アイコン登録モードにする

Fボタンを2秒以上押す (※ 5章-3 29ページ)



3 登録したいアイコンの番号を選ぶ

1~6のボタンの1つを押す



押したボタンの番号のアイコンが反転表示されます。

4 表示されるアイコンを選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶: 次のアイコンを選ぶとき

◀: 前のアイコンを選ぶとき



選ばれているアイコンが反転表示されます。

アイコンは、次の中から選ぶことができます。

番組	音楽	首都高	一般道
天気 (a)	ニュース	高速	スポーツ
トレンド	ビジネス	天気 (b)	
I LOVE IT	バラエティー	情報	
イベント			

5 表示されるアイコンを登録する

▲ボタンを押す

“ピッ”という音が鳴り、登録されたことを知らせます。

6 アイコンに番組を登録する

1~6のボタンの1つを2秒以上押す

“ピッ”という音が2回鳴り、登録されたことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

アイコンから番組を
直接呼び出す

アイコン呼び出し

アイコンに登録 (※ 5章-8) した番組を、目次を通さずに、直接呼び出すことができます。

1 アイコン呼び出しモードにする

Fボタンを押して選ぶ (※ 5章-3 29ページ)



2 登録した番組を呼び出す

1~6のボタンの1つを押す



押したボタン番号のアイコンに登録されている番組が、目次を通さずに、直接呼び出されます。

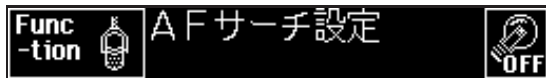
同じ系列 (番組内容) のFM
多重局を受信する

AFサーチ

受信しているFM多重局の受信状態が悪くなったときに、同じ系列 (同じ番組内容) の他のFM多重局を受信することができます。

1 AFサーチ設定モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 5章-3 29ページ)



2 同じ系列 (番組内容) のFM多重局を受信する

▲ボタンを押す (▼ボタンで途中解除)

ご注意

ディスプレイ (下) のAF表示 (※ 1章-1 7ページ) が表示されていないとき (同じ系列の放送局の情報が受信できない場合) は動作しません。

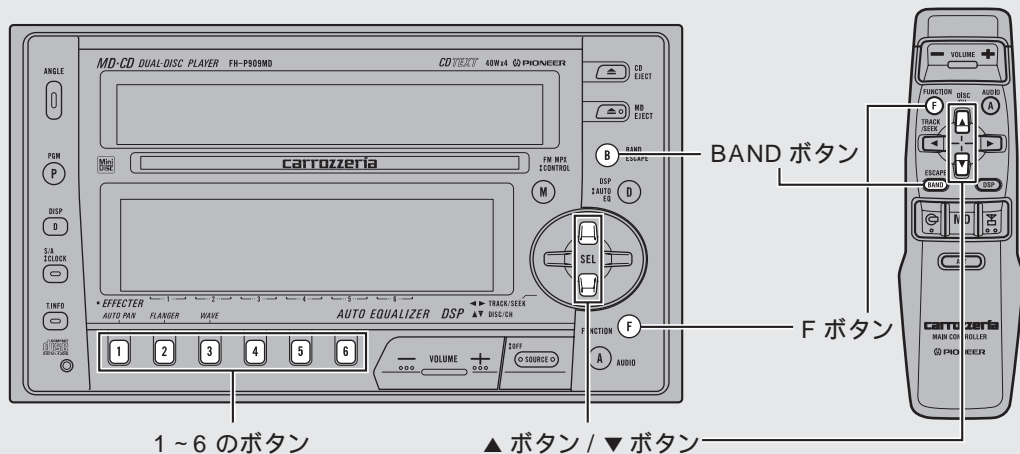


AFサーチ中に表示され、“AFサーチ中”が点滅します。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

FM多重局によっては、同じ系列の放送局の情報が送信されない場合があります。



6章 -1 聞きたいCDを直接選ぶ



ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

チェック 6連奏/12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

聞きたいCDを選ぶ

1～6のボタンの1つを押す

2秒以内：1～6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7～12枚目のCDを選ぶとき



6章 -2 おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ



ラフサーチ

聞きたいCDの10の位の数字を合わせることができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 聞きたいCDをおおまかに選ぶ

1～5のボタンの1つを押す

1：10～19枚目のCDを選ぶとき

2：20～29枚目のCDを選ぶとき

3：30～39枚目のCDを選ぶとき

4：40～49枚目のCDを選ぶとき

5：50、51枚目のCDを選ぶとき



2 聞きたいCDを選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



メモ

エクストラトレイにあるCDを選んだときや、エクストラトレイからマガジンにCDが移動しているときは、「LOAD」が表示されます。(※ 50連奏マルチCDプレーヤーの取扱説明書)

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

ファンクションモードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生範囲切換モード (※ 6章-4 36ページ)


いま聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。



タイトルリスト表示モード (※ 6章-15 45ページ)

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。



タイトル頭文字検索モード (※ 6章-16 46ページ) 

CDのタイトルの頭文字で、聞きたいCDをさがすことができます。



ランダムプレイ設定モード (※ 6章-6 38ページ)

選局をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。



スキャンプレイ設定モード (※ 6章-5 37ページ)


今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを約10秒ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。



ITSプレイ設定モード (※ 6章-8 40ページ)


ITS登録 (※ 6章-7 39ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。



ミュージックグループプレイ設定モード (※ 6章-12 43ページ) 

グループ分け (※ 6章-11 42ページ) されたCDだけを再生することができます。



頻度別プレイ設定モード (※ 6章-17 47ページ) 

日ごろよく聞くCDやあまり聞かないCDを、頻度順に再生することができます。



ポーズ設定モード (※ 6章-19 48ページ)

CD再生を一時停止することができます。



コンプレッション設定モード (※ 6章-18 47ページ)

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。



再生範囲切換モードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BANDボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

Fボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード (※ 6章-14 44ページ)


CDのタイトルを表示させるために、タイトルを入力できます。



ITS登録モード (※ 6章-7 39ページ)

記憶させた曲だけ再生する (※ 6章-8 40ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。



ミュージックグループ登録モード (※ 6章-11 42ページ) 

聞きたいグループ(ジャンル)のCDだけを再生する (※ 6章-12 43ページ) ために、あらかじめCDをグループ分けしておきます。



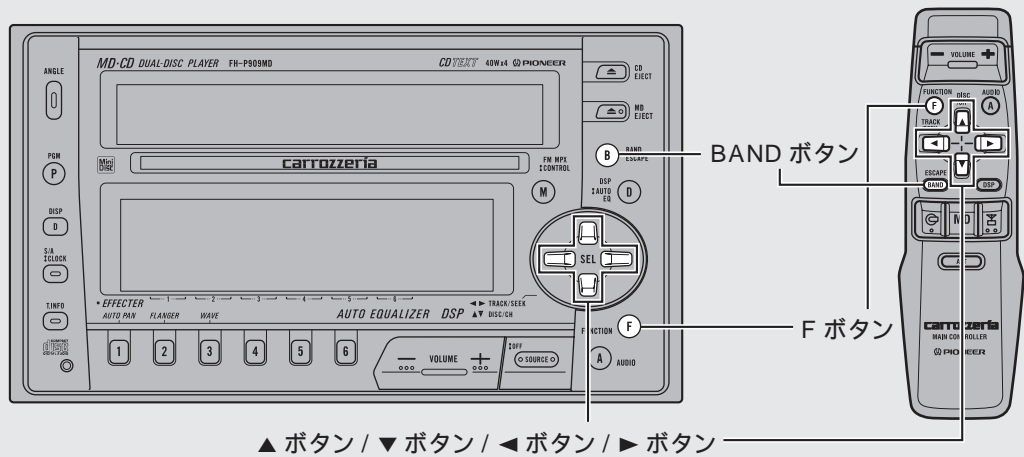
プログラムファンクション設定モード (※ 9章-6 67ページ) よく使う機能をソースごとに、PGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。



タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BANDボタンを押します。



6章-4 同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

マルチCDを2台以上接続したときは、マルチCDリピートの次に、オールリピート (ALL) に切り換わります。オールリピートにすると、接続したすべてのマルチCDを通して再生します。

1 再生範囲切換モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(☞ 6章-3 35ページ)



2 再生範囲を切り換える

◀または▶ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TRACK REPEAT (トラックリピート)

↓
DISC REPEAT (ディスクリピート)

↓
MAGAZINE REPEAT (マルチCDリピート)

↓
TRACK REPEATに戻る

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートを選んだときは、右上に“REPEAT”と表示されます。その他のときは選んだ再生範囲が、ディスプレイ (下) の再生範囲表示 (☞ 1章-1 7ページ) に表示されます。

表示	再生範囲
DISC	ディスクリピート
M-CD	マルチCDリピート

6章 5 聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ (※ 6章・4)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンプレイ設定モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(※ 6章・3 35ページ)



3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生の種類が右上に表示されます。

表示	再生範囲
T.SCAN	トラックスキャン再生
D.SCAN	ディスクスキャン再生

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたらスキャン再生を解除する

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンプレイ設定モードにしてから、スキャン再生を解除してください。

スキャンプレイ設定モードのときに▼ボタンを押す



BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

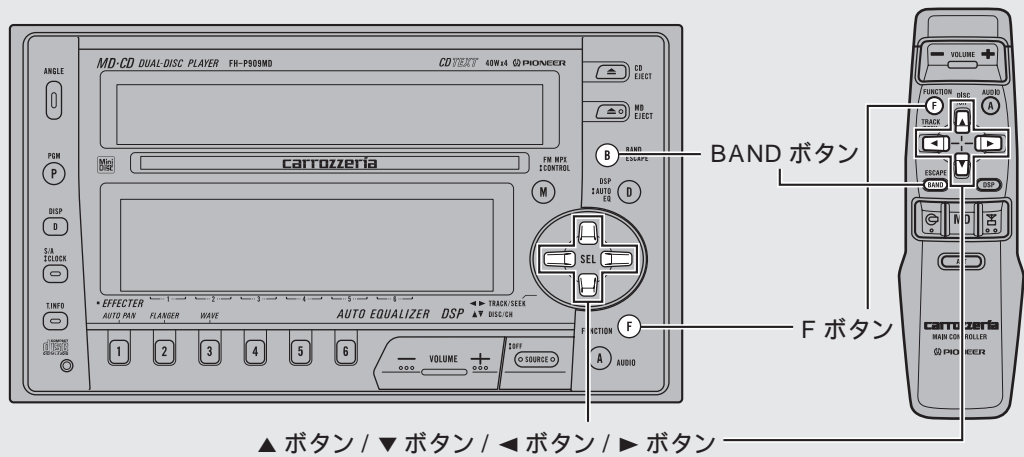
メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

マルチCDを2台以上接続したときは、手順1でオールリピートを選んで、スキャン再生をすることもできます。この場合、接続したすべてのマルチCD内の、すべてのCDの1曲目だけが再生されます。

6章

マルチCDでCDを聞く



▲ボタン / ▼ボタン / ◀ボタン / ▶ボタン

6章 -6 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ (※ 6章-4 36ページ)
選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムプレイ設定モードにする
Fボタンを押して選ぶ (※ 6章-3 35ページ)



3 ランダム再生をONにする
▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中は、右上に“RANDOM”と表示されます。

メモ
マルチCDを2台以上接続したときは、手順1でオールリピートを選んで、ランダム再生をすることもできます。この場合、接続したすべてのマルチCD内の曲がランダムで再生されます。

記憶させた曲だけ再生する (☞ 6章-8 40ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラック セレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (☞ 6章-8 40ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は記憶できません。)

ITSは、タイトル (☞ 6章-14 44ページ)、グループ分け (☞ 6章-11 42ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

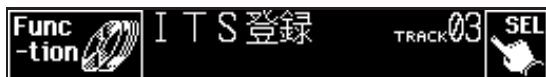
1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(☞ 2章-2 13ページ)

2 ITS登録モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (☞ 6章-3 35ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

(☞ 2章-2 13ページ)

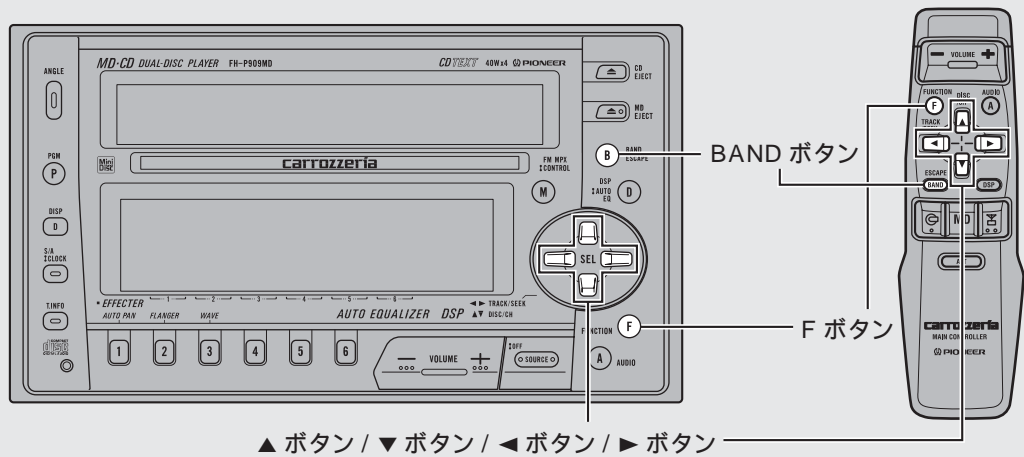
4 記憶させる

▲ ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



6章 - 8 記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (☞ 6章・7 39ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ (☞ 6章・4 36ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITSプレイ設定モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(☞ 6章・3 35ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中は、右上に“ITS.PLAY”と表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY”が約2秒間点滅表示されて、ITS再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ
記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする
(☞ 6章-8)

2 消去したい曲を再生する

◀または▶ボタンを押す
(☞ 2章-2 13ページ)

3 ITS登録モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、さらにFボタン
を押して選ぶ (☞ 6章-3 35ページ)

4 消去する

▼ボタンを押す

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶され
ている曲が再生されます。BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除して
ください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、
“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFに
なります。記憶させた曲をCDごとに
記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(☞ 2章-2 13ページ)ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFF
にしてください。

2 ITS登録モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、さらにFボタン
を押して選ぶ (☞ 6章-3 35ページ)

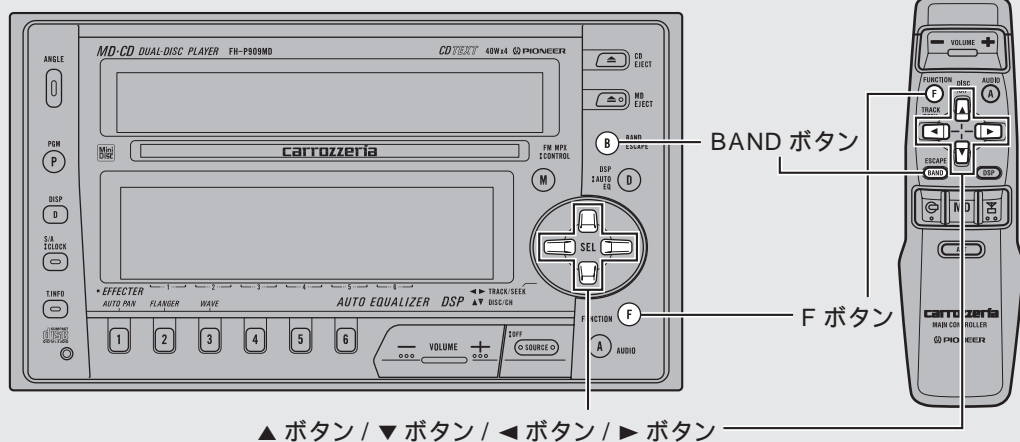
3 消去する

▼ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除して
ください。



▲ボタン / ▼ボタン / ◀ボタン / ▶ボタン

6章 -11 CDをグループ分けする



ミュージックグループ別記憶

聞きたいグループ (ジャンル) のCDだけを再生する (※ 6章-12) ために、あらかじめCDをグループ分けしておきます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

グループ分けについて

グループ分けは、聞きたいCDをグループごとに記憶させておき、そのグループを再生する (※ 6章-12) 機能です。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。

グループ分けは、タイトル (※ 6章-14 44ページ)、ITS (※ 6章-7 39ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

1 グループ分けさせたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(※ 2章-2 13ページ)

2 ミュージックグループ登録モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 6章-3 35ページ)



3 グループを選ぶ

◀または▶ボタンを押す



選ばれているグループが点滅します。

次のようなグループがあります。

ROCK1	ROCK2	POP1
POP2	JAZZ	FUSION
CLASSIC	GROUP1	GROUP2
GROUP3		

4 記憶させる

▲ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

6章
-12

グループ別で再生する



ミュージックグループ別再生

グループ分け (※ 6章-11) されたCDだけを再生することができます。

チェック 50連続マルチCDプレーヤーの機能です。

1 ミュージックグループプレイ設定モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(※ 6章-3 35ページ)



2 聞きたいグループを選ぶ

◀または▶ボタンを押す



選ばれているグループが点滅します。

3 ミュージックグループ別再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ミュージックグループ別再生が始まり、グループ分けされたCDだけが再生されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ミュージックグループ別再生中は、右上に“MG.PLAY”と表示されます。

メモ

手順2で選んだグループにCDが記憶されていない場合は、“MUSIC GROUP EMPTY”が約2秒間表示されて、ミュージックグループ別再生は行われません。

6章
-13

CDをグループから消す



ミュージックグループ別消去

グループ分けされたCDをグループから消すことができます。

チェック 50連続マルチCDプレーヤーの機能です。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(※ 2章-2 13ページ)

2 ミュージックグループ登録モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 6章-3 35ページ)



3 消去する

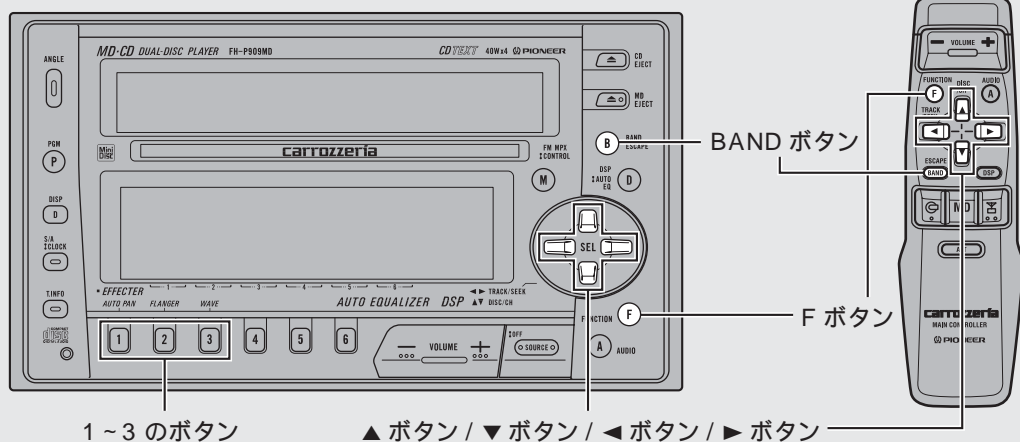
▼ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

6章



6章 -14 CDのタイトルを記憶させる

タイトル記憶

CDのタイトルを表示させるために、タイトルを入力できます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (※ 6章-15) やタイトル頭文字検索 (※ 6章-16 46ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P1240TX」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ入力されているCDタイトルで同様にタイトルリスト (※ 6章-15) をすることができます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P1240TX」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、「CD TEXT」にタイトルを入力することはできません。

タイトルは10文字まで入力できます。

タイトルは、ITS (※ 6章-7 39ページ)、グループ分け (※ 6章-11 42ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

1 タイトルを入力したいICDを再生する

▲または▼ボタンを押す

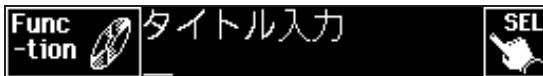
(※ 2章-2 13ページ)

2 タイトル入力モードにする

Fボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 6章-3 35ページ)

ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P1240TX」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ記憶されているCDタイトルは変更できません。)



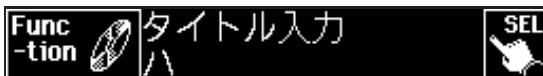
3 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

▲：次の文字を選ぶとき

▼：前の文字を選ぶとき



6章 15 タイトルを見て聞きたいICDをさがす

CDのタイトルを見ながら、聞きたいICDを選ぶことができます。

選べる文字は、次のように切り換わります。

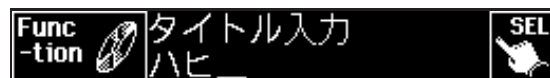
押すボタン	: 選べる文字
1のボタン	: アルファベットの小文字(a~z)、空白()
↓	
1のボタン	: アルファベットの大文字(A~Z)、数字(0~9)、記号(! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { })、空白()
2のボタン	: 数字(0~9)、記号(! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { })、空白()
3のボタン	: カタカナ(ア~ン)、ハイフン(-)、空白()
↓	
3のボタン	: 拗促音、濁点、半濁点(アイウエオヤユヨツ'°)、空白()

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ ボタンを押す

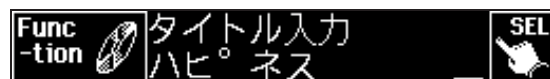
▶ : 右に移動させるとき

◀ : 左に移動させるとき



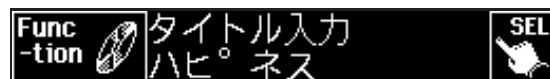
10文字まで入力できます。

4 入力が終わったら10文字目を点滅させる



5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す



入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBANDボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。) タイトルを入力すると、通常表示のときに表示されるようになります。

1 タイトルリスト表示モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(参照 6章 3 35ページ)



2 聞きたいICDを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき

◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



記憶されているタイトルと、そのCDのCD番号が点滅します。

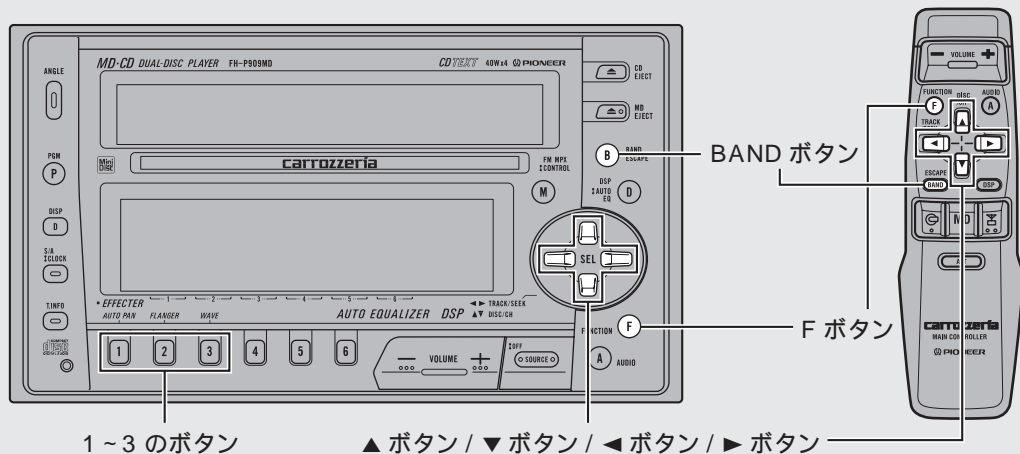
3 選んだCDを再生する

▲ ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



6章 -16 タイトルの頭文字でCDをさがす



タイトル頭文字検索

CDのタイトルの頭文字で、聞きたいCDをさがすことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 タイトル頭文字検索モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(☞ 6章-3 35ページ)



2 タイトルの頭文字を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次の文字を選ぶとき

▼：前の文字を選ぶとき



選ばれている頭文字が点滅します。

入力時と同様に、1~3のボタンの1つを押すと、選べる文字が切り換わります。

1のボタン：アルファベットなど

2のボタン：記号など

3のボタン：カタカナなど

詳しくは (☞ 6章-14 44ページ)

3 聞きたいタイトルを選ぶ

◀または▶ボタンを押す



選ばれているCDのタイトルと、そのCDのCD番号が点滅します。

4 選んだタイトルのCDを再生する

▲ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

手順3の操作を解除したい場合は、▼ボタンを押すと解除され手順2に戻ります。

選んだ頭文字のCDがないときは、“NO TITLE”が約8秒間、点滅表示されます



日ごろよく聞くCDやあまり聞かないCDを、頻度順に再生することができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

演奏頻度別再生について

演奏頻度別再生は、マガジンにセットされているCDの再生された頻度により、よく聞くCD順(MOST)または、あまりよく聞かないCD順(LEAST)に再生する機能です。

1 頻度別プレイ設定モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(☞ 6章-3 35ページ)



2 頻度を選ぶ

◀または▶ボタンを押す

▶ : Most (よく聞くCD順) を選ぶとき

◀ : Least (あまりよく聞かないCD順) を選ぶとき



選ばれている頻度が点滅します。

3 頻度別再生をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



約2秒間表示され、演奏頻度別再生が始まり、頻度順にCDが再生されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



演奏頻度別再生中は、右上に選んだ頻度が表示されます。

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤー(「CDX-P620S」など)と組み合わせたときの機能です。

COMPについて

COMPとは、COMPression (コンプレッション) の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 コンプレッション設定モードにする

Fボタンを押して選ぶ

(☞ 6章-3 35ページ)



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

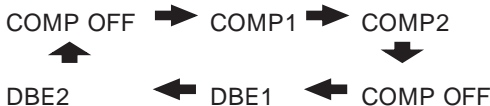
ご注意

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「NO COMP」が表示されて、操作ができません。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

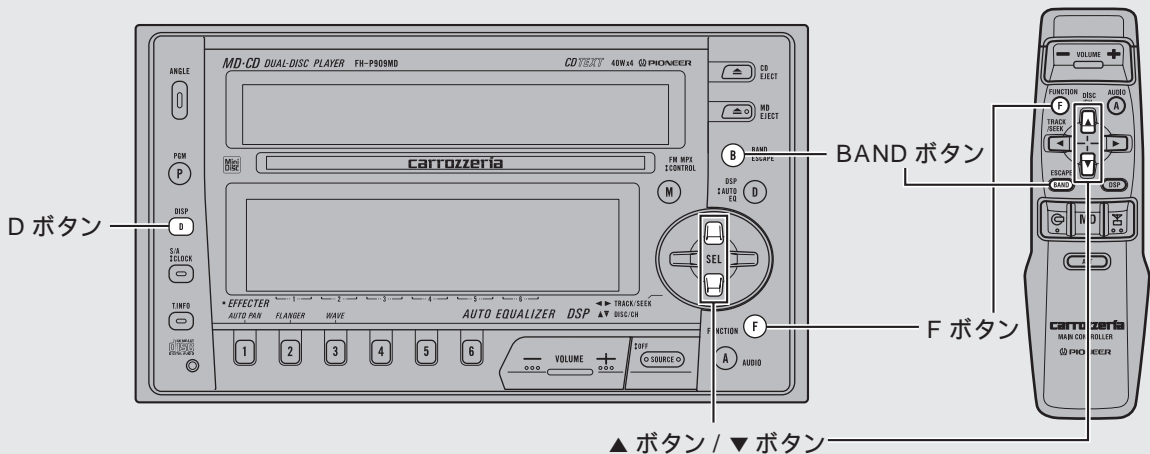


COMP1、COMP2、DBE1またはDBE2を選ぶと、ディスプレイ(下)のCOMP/DBE表示(☞ 1章-1 7ページ)の「CMP」または「DBE」が表示されます。

BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。



D ボタン

BAND ボタン

F ボタン

▲ ボタン / ▼ ボタン

6章 -19 CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズ設定モードにする

Fボタンを押して選ぶ
(6章-3 35ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中は、右上に“PAUSE”と表示されます。

6章 -20 選んだCDを取り出す

50連奏
CDイジェクト

選んだCDをマガジンからエクストラトレイに移して取り出すことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 取り出したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(2章-2 13ページ)

2 CDをエクストラトレイに移動する

BANDボタンを2秒以上押す



CDの移動中は、CD番号が点滅します。

3 CDをエクストラトレイから取り出す

CDの取り出しかたについては、50連奏マルチCDプレーヤーの説明書をご覧ください。

メモ

すでにエクストラトレイにCDが入っているときは動作しません。

グループ分けされたCDのグループを表示させる



ディスプレイ切り換え

グループ分け (※ 6章-11 42ページ) されたCDのグループを、表示させることができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

表示を切り換える

Dボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル表示



グループ表示



メモ

タイトルが入力されていないCDやグループ分けされていないCDで表示を切り換えると、“NO TITLE”や“NO GROUP”が約4秒間、点滅表示されます。

「CD TEXT」のタイトルや歌手名の表示を切り換える

ディスプレイ切り換え

「CD TEXT」のタイトルや歌手名などの表示を切り換えることができます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P1240TX」など) に「CD TEXT」をセットしたときの機能です。

表示を切り換える

Dボタンを押す

ボタンを押すごとにディスプレイが切り換わります。

例：



ディスクタイトル表示



ディスクアーティスト (歌手) 名表示



トラックタイトル表示



トラックアーティスト (歌手) 名表示

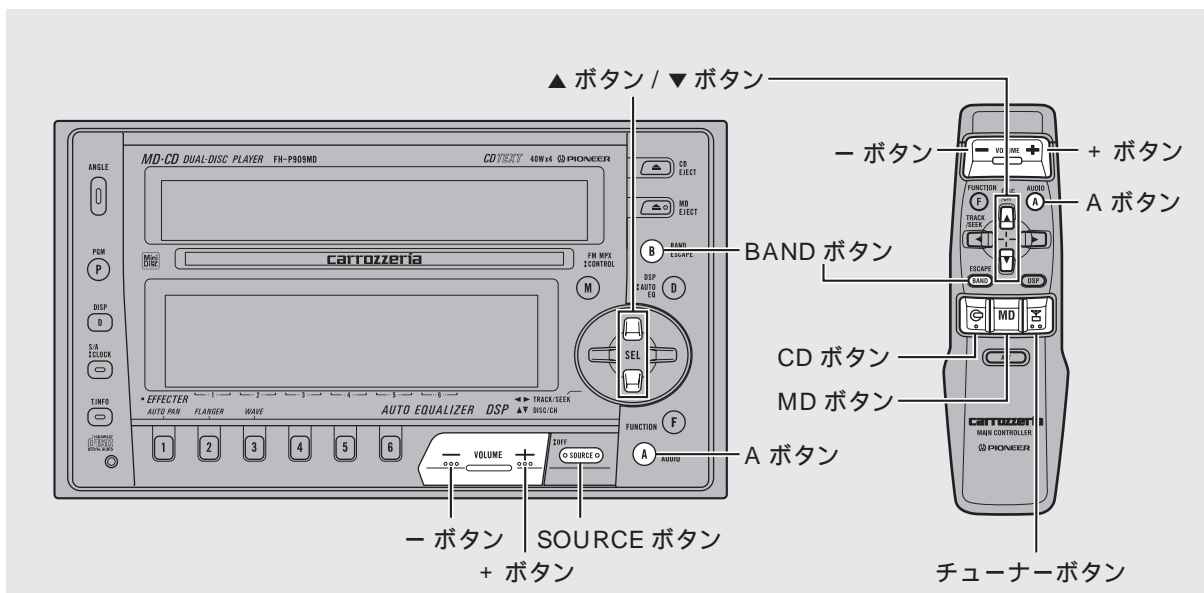


ディスクタイトル表示に戻る

メモ

トラックアーティスト (歌手) 名などが入力されていないCDで表示を切り換えると、“NO TRACK ARTIST”などが約4秒間、点滅表示されます。

ディスクタイトルなどが10文字を越えるときは、Dボタンを2秒以上押ししてください。隠れている文字が順番に表示されます。



7章 -1 オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

オーディオ調節モードを切り換える

Aボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (☞ 7章-6 53ページ)

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。



サブウーファーモード (☞ 7章-4 52ページ)

サブウーファーの出力をON/OFFしたり、位相の設定をすることができます。(RCA外部出力をリアスピーカーに設定しているときだけ切り換わります。)



サブウーファー調節モード (☞ 7章-5 53ページ)

サブウーファーの出力をONにすると、カットオフ周波数、出力レベルの設定をすることができます。(RCA外部出力をリアスピーカーに設定しているときだけ切り換わります。)



ラウドネスモード (☞ 7章-2)

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。



SLAモード (☞ 7章-3)

ソースを切り換えたとき、音量に違いが出ないように、FMの音量にそろえることができます。(ラジオのFM放送を聞いているときは、切り換わりません。)



音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BANDボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

7章 2 小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

Aボタンを押して選ぶ (☞ 7章-1)



2 ラウドネスをONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



ラウドネスをONにすると、ディスプレイ (下) のラウドネス表示 (☞ 1章-1 7ページ) が表示されます。

BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

7章 3 各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき、音量に違いが出ないように、FMの音量にそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

SOURCEボタンを押して選んでから、+、-ボタンを押す (☞ 2章-4 15ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCEボタンを押して選ぶ (☞ 2章-1 12ページ)

3 SLAモードにする

Aボタンを押して選ぶ (☞ 7章-1)



4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは-4 ~ +4の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。

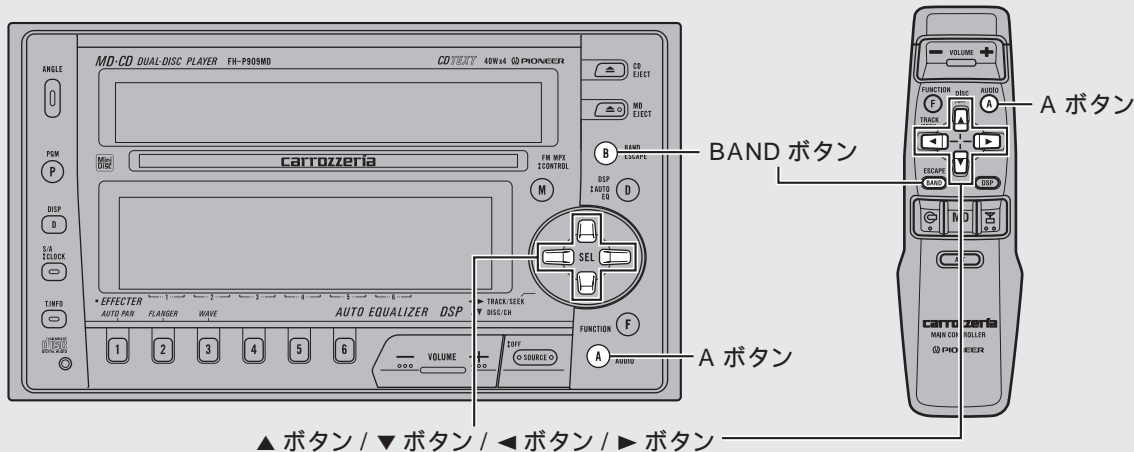
FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMからSLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、テープ、CD、MD、AUX (外部機器)、EXT (エクスターナルユニット) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、1枚型CDとマルチCD、1枚型MDとマルチMDおよびAMと交通情報 (☞ 9章-4 66ページ) は同じ設定になります。

本機は、将来発売される製品も使用できるようにEXT (エクスターナルユニット) ソースを用意しています。EXTソースも他のソースと同様にSLA調節をすることができます。

7章

音を調節する



7章 4 サブウーファーを使う

サブウーファー

サブウーファーの出力をON/OFFしたり、位相の設定をすることができます。(この機能は、初期設定ではONになっています。)

チェック サブウーファーを組み合わせたときの機能です。

サブウーファーの位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相同士が反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。

1 サブウーファーモードにする

Aボタンを押して選ぶ

(☞ 7章・1 50ページ)



2 サブウーファー機能をONにする

▲ボタンを押す(▼ボタンでOFF)



サブウーファーをONにすると、ディスプレイ(下)のサブウーファー表示(☞ 1章・1 7ページ)が表示されます。

3 位相を切り換える

◀または▶ボタンを押す

▶ : NOR (正相)

◀ : REV (逆相)



BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

7章-5 サブウーファーを調節する

サブウーファー調節

サブウーファーの出力をONにする (※ 7章-4) と、カットオフ周波数、出力レベルの設定をすることができます。

1 カットオフ周波数について

50、80、125 (単位 : Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

1 サブウーファー調節モードにする

Aボタンを押して選ぶ (※ 7章-1 50ページ)



2 周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶとき

◀または▶ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



周波数は50、80、125 (単位 : Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

▲または▼ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは-6 ~ +6の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

7章-6 前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節モードにする

Aボタンを押して選ぶ (※ 7章-1 50ページ)



2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



レベルはF25 ~ R25の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき

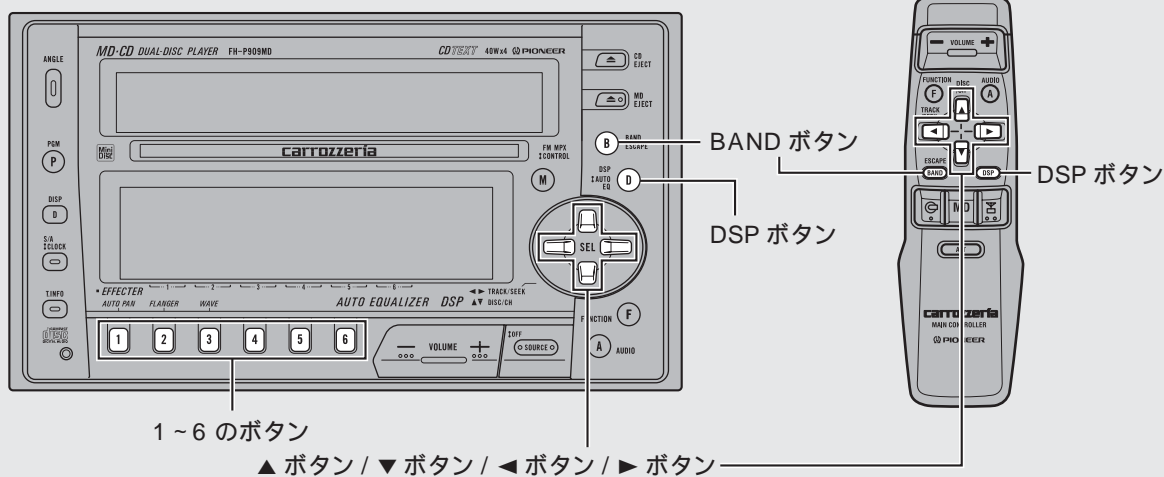


レベルはL25 ~ R25の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

7章

音を調節する



8章 -1 DSP調節モードの切り換えかた

DSPの機能を使って音場と音質を調節するときは、DSPを調節するためのモードに切り換えて操作します。

DSP調節モードを切り換える

DSPボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

グラフィックイコライザーモード (☞ 8章-3)

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。また、調節したイコライザーカーブはユーザー1、ユーザー2に記憶できます。

SFCモード (☞ 8章-7 59ページ)

実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。

サウンドエフェクターモード (☞ 8章-4 56ページ)

エフェクターにはオートパン、フランジャー、ウェーブの3種類あります。エフェクター機能を使い自分だけの曲を楽しむことができます。

リスニングポジションセレクターモード (☞ 8章-2)

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

グラフィックイコライザーモードに戻る

8章 -2 音場の中心で聞く

リスニングポジションセレクター

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

リスニングポジションセレクターについて



リスニングポジションセレクターは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルが調節される機能です。



この機能とSFCを組み合わせると、自然なリスニングポジションが得られるので、全身を包むような豊かな音場を体感することができます。

乗車位置について

L	FRONT REAR	R		FRONT SEAT RIGHT
L	FRONT REAR	R		FRONT SEAT LEFT
L	FRONT REAR	R		FRONT SEAT RIGHT&LEFT
L	FRONT REAR	R		ALL SEATS

乗車位置の使い分け

FRONT SEAT RIGHT	右ハンドル車に運転手だけがいますとき
FRONT SEAT LEFT	左ハンドル車に運転手だけがいますとき
FRONT SEAT RIGHT&LEFT	同乗者が助手席にいますとき
ALL SEATS	同乗者が後部座席にいますとき

1 リスニングポジションセレクターモードにする

DSPボタンを押して選ぶ (☞ 8章-1)



2 乗車位置を選ぶ

▲、▼、◀、または▶ボタンを押すボタンを押すごとにON/OFFします。

- ▶ : FRONT SEAT RIGHT
- ◀ : FRONT SEAT LEFT
- ▲ : FRONT SEAT RIGHT & LEFT
- ▼ : ALL SEATS



選んだ乗車位置が、ディスプレイ (下) のポジションマーク (☞ 1章-1 7ページ) に表示されます。

BANDボタンを押して、DSP調節モードを解除してください。

メモ

リスニングポジションごとに音量バランスを記憶させることができます。

フラットとユーザーカーブについて

フラット (4のボタン)

何の補正もしていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、効果を確認するのに使おうと便利です。

ユーザー1 (5のボタン)、ユーザー2 (6のボタン) ニュアンスコントロール (☞ 8章-6 58ページ) やイコライザー調節 (☞ 8章-5 57ページ) により、イコライザーカーブをお好みに応じて調節し記憶させることができます。

1 グラフィックイコライザーモードに切り換える

DSPボタンを押して選ぶ (☞ 8章-1)



2 イコライザーカーブを選ぶ

直接呼び出す

1~6のボタンの1つを押す

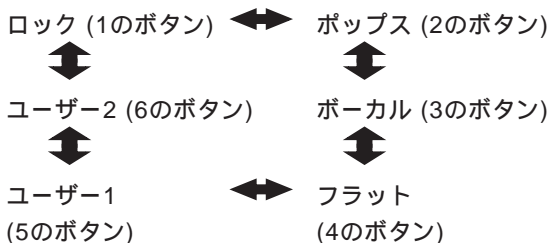
1~4のボタン : ファクトリーカーブ

5~6のボタン : ユーザーカーブ

順番に呼び出す

◀または▶ボタンを押す

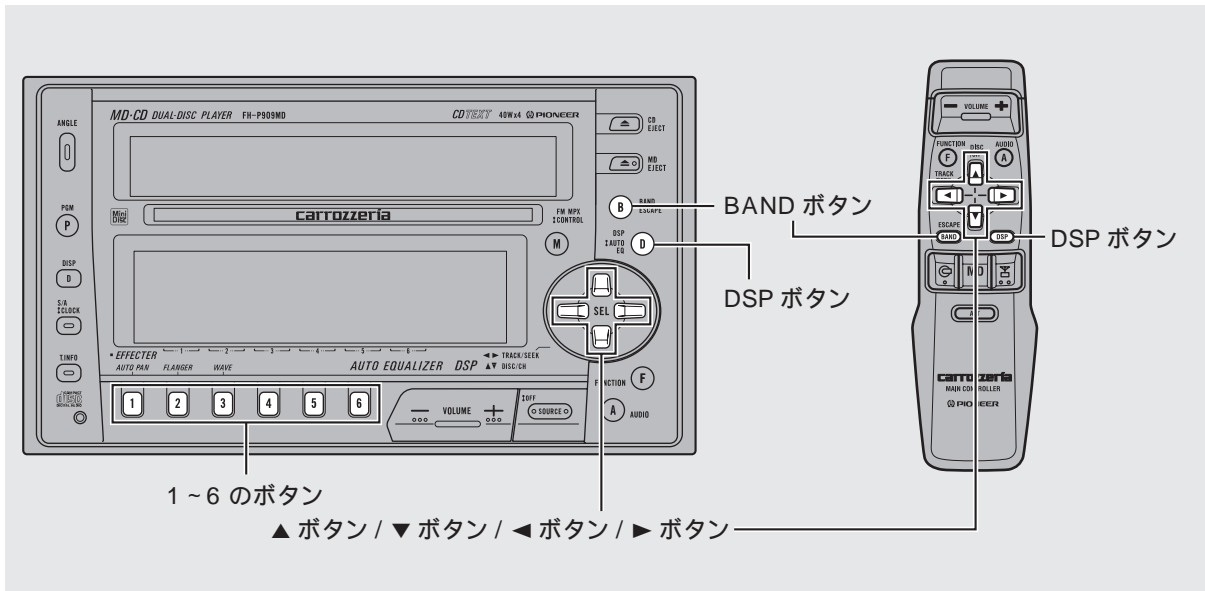
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



BANDボタンを押して、DSP調節モードを解除してください。

メモ

オートイコライジングを行った場合、呼び出しているイコライザーカーブのボタンを押すごとにAUTO EQのON/OFFができます。AUTO EQをONにすると、ディスプレイ (下) のA.EQ表示 (☞ 1章-1 7ページ) が表示されます。イコライザーカーブは、ソースごとに選ぶことができます。なお、内蔵CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMDは同じ設定になります。



8章 曲に合わせてエフェクターをかける

4

サウンドエフェクター

エフェクターにはオートパン、フランジャー、ウェーブの3種類あります。エフェクター機能を使い自分だけの曲を楽しむことができます。

サウンドエフェクターについて

サウンドエフェクターには、以下の機能があります。

オートパン

音を左右のスピーカーへ、交互に移動させます。

フランジャー

飛行機が飛んでくるような効果が得られます。

ウェーブ

音がうねるような効果が得られます。

順番に選ぶ

◀または▶ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

OFF ↔ オートパン (1のボタン)

↕

ウェーブ ↔ フランジャー (2のボタン)

サウンドエフェクターを選ぶと、ディスプレイ (下) のSE表示 (※ 1章-1 7ページ) が表示されます。

SFC (※ 8章-7 59ページ) が選ばれているときにサウンドエフェクターを選ぶと、SFCは自動的にOFFになります。

1 サウンドエフェクターモードに切り換える

DSPボタンを押して選ぶ (※ 8章-1 54ページ)



2 サウンドエフェクターを選ぶ

直接選ぶ

1~3のボタンの1つを押す

1のボタン：オートパン

2のボタン：フランジャー

3のボタン：ウェーブ

同じボタンをもう一度押すと、サウンドエフェクターOFFになります。

3 変化の速度を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：変化の速度を速くするとき

▼：変化の速度を遅くするとき



変化の速度は-3 ~ +3の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、DSP調節モードを解除してください。

メモ

サウンドエフェクターは、ソースごとに選ぶことができます。なお、内蔵CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMDは同じ設定になります。

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。また、調節したイコライザーカーブはユーザー1、ユーザー2に記憶されます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSPボタンを押して選ぶ (☞ 8章・1 54ページ)

2 ユーザー1またはユーザー2を呼び出す

5または6のボタンを押す

5のボタン：ユーザー1

6のボタン：ユーザー2

3 イコライザー調節モードにする

DSPボタンを2秒以上押す

ユーザー1またはユーザー2を呼び出したときだけ調節モードになります。



4 各周波数ごとのレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀または▶ボタンを押す



周波数は、次の中から選べます。

50、80、125、200、315、500、800、1.3k、
2k、3.2k、5k、8k、12.5k (Hz)

レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

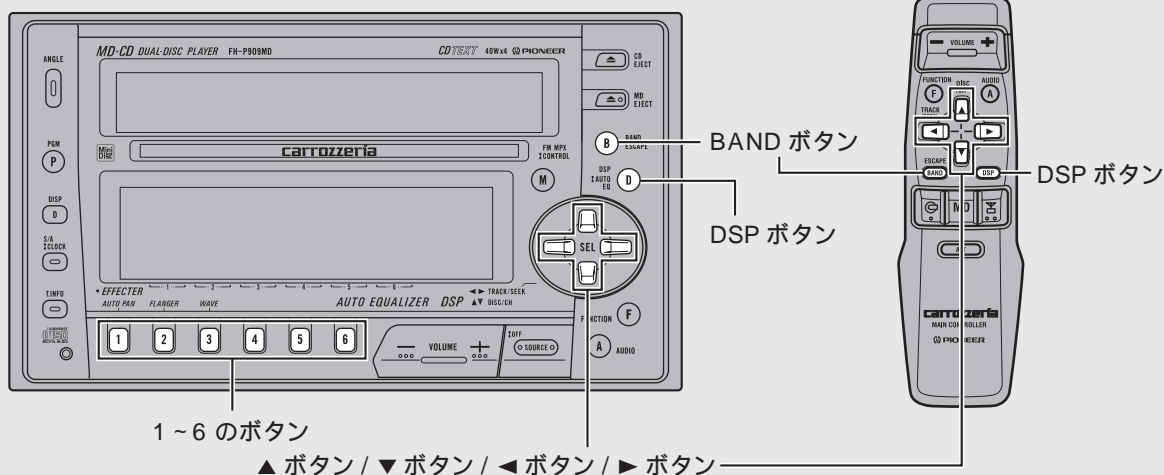
▲：強めるとき

▼：弱めるとき



レベルは-6～+6の範囲で調節できます。

DSPボタンを2秒以上押して、イコライザー調節モードを解除してから、BANDボタンを押して、DSP調節モードを解除してください。



8章 -6 イコライザーカーブを大まかに補正する

ニュアンスコントロール

呼び出したイコライザーカーブは、全体的なバランスはくずさずに、大まかに強めたり弱めたりすることができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSPボタンを押して選ぶ (※ 8章-1 54ページ)



2 イコライザーカーブを選ぶ

1~6のボタンの1つ、◀または▶ボタンを押す

ご注意

ファクトリーカーブのフラットおよび、フラットが記憶されているユーザーカーブを補正することはできません。

3 イコライザーカーブを補正する

▲または▼ボタンを押す

▲：効果を強めるとき

▼：効果を弱めるとき



ファクトリーカーブは-5~+6の範囲で調節できます。

ユーザーカーブは、-6~+6の範囲で調節できます。(記憶されているユーザーカーブによっては、調節できる範囲が狭くなることがあります。)

4 お好みにより、補正したイコライザーカーブを記憶する

5または6のボタンを2秒以上押す
押したボタンに記憶されます。

ご注意

補正したイコライザーカーブを残しておきたいときは、ユーザー1 (5のボタン) またはユーザー2 (6のボタン) に記憶させてください。

BANDボタンを押して、DSP調節モードを解除してください。

実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。

SFCについて

車室内に、リアルな音場を再現することができます。コンサートホールやスタジアムなど、6つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

1 SFCモードに切り換える

DSPボタンを押して選ぶ (※ 8章・1 54ページ)



2 音場プログラムを選ぶ

直接選ぶ

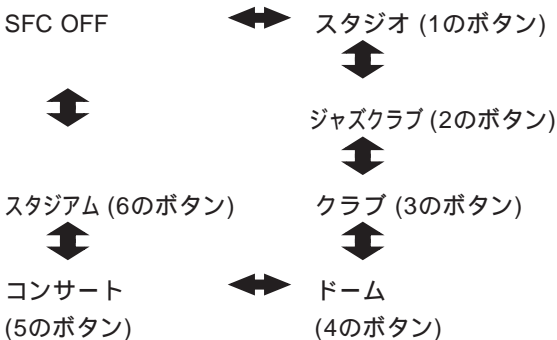
1～6のボタンの1つを押す

同じボタンをもう一度押すと、SFC OFFになります。

順番に選ぶ

◀または▶ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



音場プログラムを選ぶと、ディスプレイ (下) のSFC表示 (※ 1章・1 7ページ) が表示されます。

サウンドエフェクター (※ 8章・4 56ページ) が選ばれているときに音場プログラムを選ぶと、サウンドエフェクターは自動的にOFFになります。

3 SFCフェーダーを調節する

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



SFCフェーダーはF12～R12の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、DSP調節モードを解除してください。

メモ

SFCとはSound Field Control (サウンド フィールド コントロール) の略です。

音場プログラムは、ソースごとに選ぶことができます。なお、内蔵CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMDは同じ設定になります。

SFCフェーダーは、音場プログラムごとに前後の音量を調節する機能です。(SFC OFFのときは、調節できません。) 通常の音量バランス調節とSFCフェーダーを組み合わせることで、音場プログラムに合った音量バランスに調節できます。

オートイコライジングを行う前に必ずお読みください。



警告

走行中にオートイコライジングを行わない



禁止

自動車が走行中にオートイコライジングを行わないでください。オートイコライジング機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

スピーカー破損防止のために

次の状態でオートイコライジングを行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。オートイコライジングを行う前に、よく確認してください。

スピーカーの接続を誤っている場合

(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)

スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

オートイコライジング機能について

車室内空間は、その狭さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

本機のオートイコライジング機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、オートイコライジングにより乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。)

オートイコライジングを行う前にお読みください

オートイコライジングは、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってからオートイコライジングを行ってください。計測音以外の音（車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など）によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。

オートイコライジングは、必ず付属のマイクを使用して行ってください。付属のマイク以外のマイクでは、オートイコライジングが実行できなかったり、車室内の音響特性が正しく測定できません。

フロントスピーカーまたはリアスピーカーが、どちらも接続されていない場合は、オートイコライジングが実行できません。（どちらかが接続されていれば、オートイコライジングが実行できます。）

入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合に、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていると、オートイコライジングが実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは指示位置（STD）に合わせてください。

オートイコライジングを行うと、サブウーファアの位相、レベルが自動的に調節され、お客様が調節された内容は変更されます。（サブウーファアを接続している場合、サブウーファア出力をOFFにしてもサブウーファアはONになり、自動的に調節されます。）

オートイコライジングを行うと前後左右の音量バランス調節（フェーダー/バランス）の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。

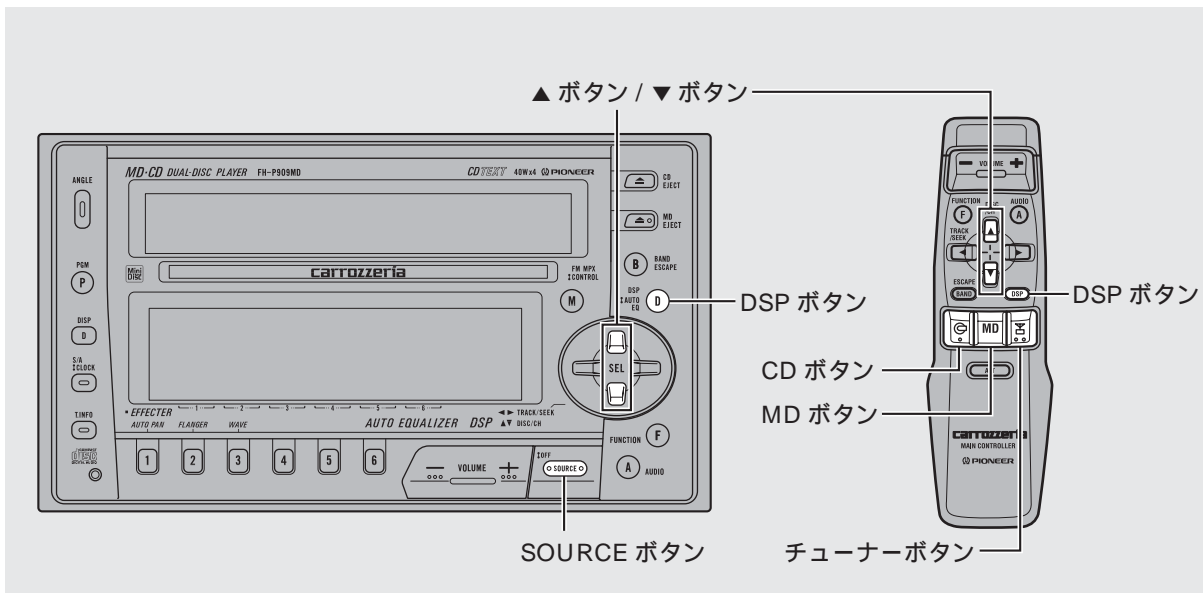
オートイコライジングを行うと、イコライザーカーブは、フラット（FLAT）に設定されます。

オートイコライジングを行うと、リスニングポジションセレクターは、FRONT-Rに設定されます。（ただし、FRONT-Lに設定していたときだけは、FRONT-Lのままになります。）

オートイコライジングの調節内容について

一度オートイコライジングを行った後に、RCA外部出力の設定を切り換えると、オートイコライジングの調節内容が消去されます。再度、オートイコライジング調節を行ってください。

一度オートイコライジングを行った後に、再度オートイコライジングを行った場合は、前のオートイコライジングの調節内容は消去されます。



8章 オートイコライジングの調節

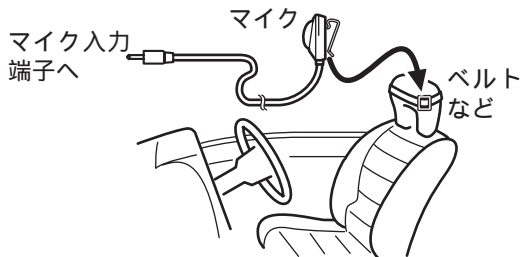
車室内の音響特性を自動的に計測して、車室内の音響特性を最適に自動補正することができます。

1 車の環境を整える

静かな所に車を停車させる。
ドア、窓、サンルーフなどを閉める
車のエンジンを停止する。

2 マイクをセットする

付属のマイクをベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に、前向きに固定する。



ご注意

マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がる恐れがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

3 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

ご注意

車のエアコンやヒーターがONになっている場合は、OFFにしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってオートイコライジングが実行できないことがあります。

4 本機の電源を入れる

SOURCEボタンを押す

5 乗車位置を決定する

リスニングセレクターモードにして、乗車位置を、マイクをセットした座席に設定する

(※ 8章-2 54ページ)

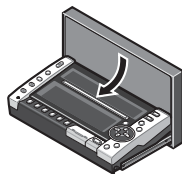
FRONT-RまたはFRONT-L以外に設定したときは、オートイコライジングを始めると、強制的にFRONT-Rに再設定されます。

6 本機の電源を切る

SOURCEボタンを1秒以上押す

7 オートイコライジングモードにする

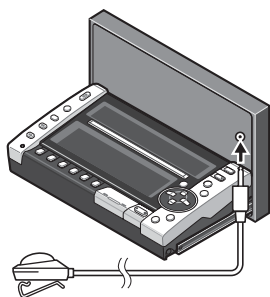
DSPボタンを2秒以上押す
フロントパネルが開きます。



オートイコライザーを設定します
START:UP KEY STOP:DOWN KEY

8 マイクを本機に接続する

付属のマイクをマイク入力端子に接続する



9 オートイコライジングを始める

▲ボタンを押す (▼ボタンで途中解除)

<オートイコライザー設定>
測定開始10秒前です

ご注意

オートイコライジングを行っているときは、CDやMDの挿入などでソース切り換えをしないでください。DSPの設定が変わってしまいます。

10 車外に出る

10秒のカウントダウンが始まるので、10秒以内に車外に出て、ドアを閉める

計測音(ノイズ)が各スピーカーから出力され、オートイコライジング(音響特性の測定および補正)が始まります。

メモ

オートイコライジングを途中でやめたいときは、BANDボタンを押してください。強制的に解除して、電源OFFになります。

11 オートイコライジングが自動的に終了する

<オートイコライザー設定>
設定を終了しました

正しく終了すると、上のように表示されます。

オートイコライジング操作が終わったらセットしたマイクを取り外し、DSPボタンを押して電源を切り、ANGLEボタンを押してフロントパネルを元の位置に戻してください。

オートイコライザーが正常に終了した後は、すべてのイコライザーカーブに対してAUTO EQ ONとなりディスプレイ(下)のA.EQ表示(※ 1章・17ページ)が表示されます。



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

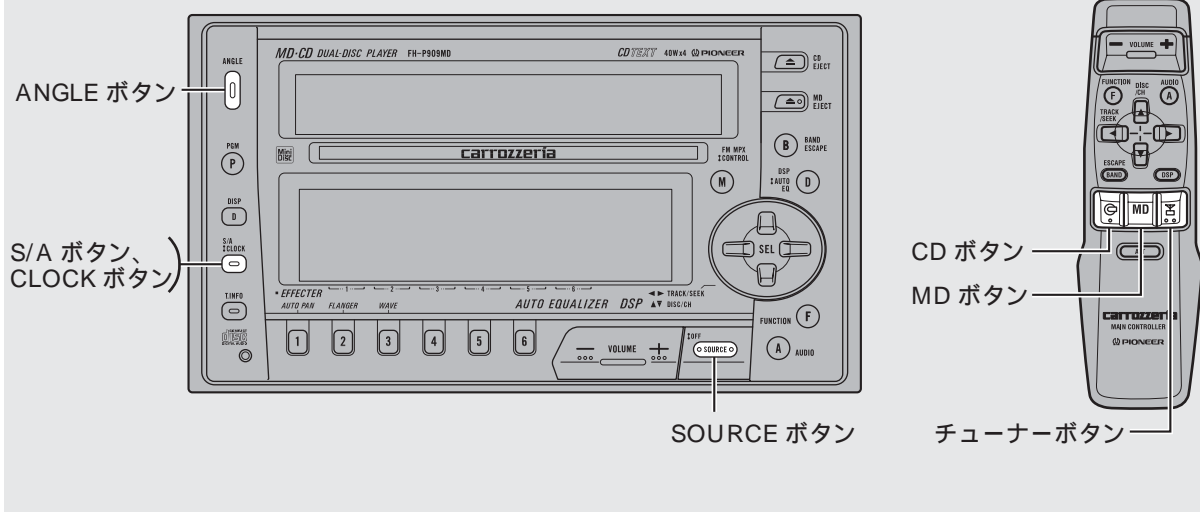
フロントパネルをMD挿入口まで開けたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬけがをする恐れがあります。

メモ

マイクをセットする位置により、オートイコライザーの調節内容が変わります。

お好みにより、助手席にセットすることもできます。

マイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。



9章 1 フロントパネルを見やすい角度に調節する

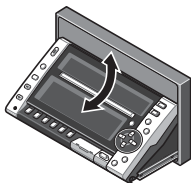
アングル調節

フロントパネルの角度を調節して、ディスプレイを見やすくすることができます。

フロントパネルの角度を調節する

ANGLEボタンを押す

ボタンを押すごとに、ディスプレイが傾きます。(CD挿入口まで開いているときに、さらにANGLEボタンを押すとフロントパネルが閉じます。)



ご注意

角度の調節は、手動で行わないでください。フロントパネルに強い力が加わると、故障することがあります。



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。
フロントパネルをMD挿入口まで開けたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬけがをする恐れがあります。

メモ

フロントパネルの角度は、12段階に調節することができます。メインコントローラーの取付位置によっては、フロントパネルの角度調節を行うとメインコントローラーでの操作が効かなくなることがあります。このようなときは、メインコントローラーを本機に近づけて操作してください。車のACC (アクセサリ) 電源をOFFにすると、約6秒後にフロントパネルが閉じます。もう一度ONにすると、元の位置に戻ります。
ANGLEボタンを2秒以上押すと、フロントパネルはMD挿入口まで開きます。(MD挿入口まで開いている状態で、ANGLEボタンを2秒以上押した場合は、フロントパネルが閉じます。)

9章 2 日付と時間を表示させる

日付・時間表示

本機の電源がONのときは、日付と時間を表示させることができます。

日付と時間を表示させる

CLOCKボタンを2秒以上押す

ボタンを2秒以上押すごとにON/OFFします。



メモ

FM多重操作モード (2章-5 16ページ) のときは、日付・時間表示はできません。
日付・時間表示のときに、他の操作をすると、日付・時間表示は一度解除されますが、約25秒間で日付・時間表示に戻ります。

各ソースを聞いているときに9種類のスペアナ表示を楽しむことができます。

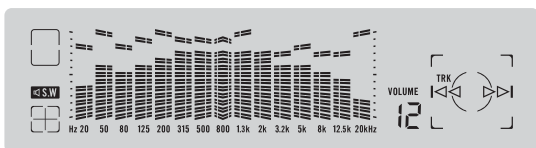
1 聞きたいソースを選ぶ

SOURCEボタンを押す (☞ 2章-1 12ページ)
スピーカーから音が出力されている状態にします。

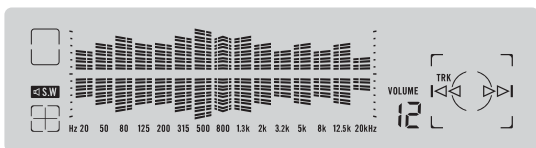
2 スペアナ表示を切り換える

S/Aボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

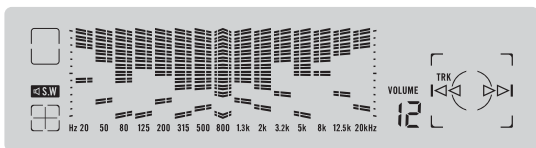
ピークバウンド (モノラル表示)



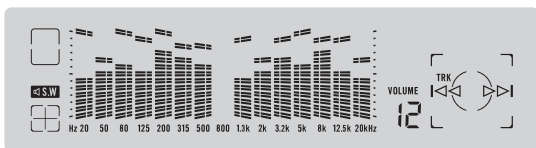
シンメトリー (モノラル表示)



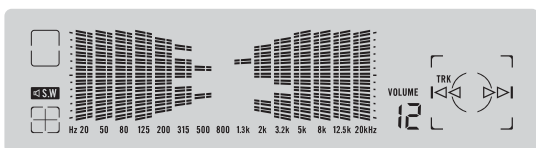
ナイアガラ (モノラル表示)



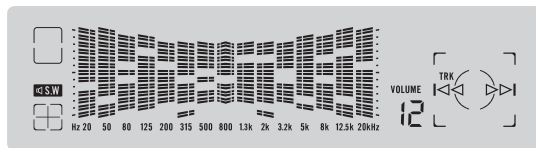
L&R (ステレオ表示)



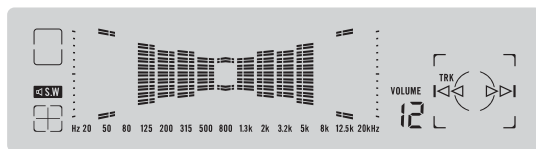
水平L&R (ステレオ表示)



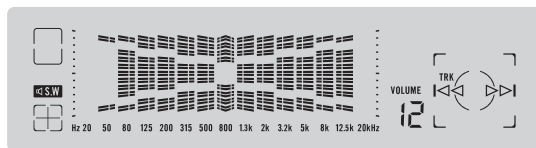
マンハッタン (モノラル表示)



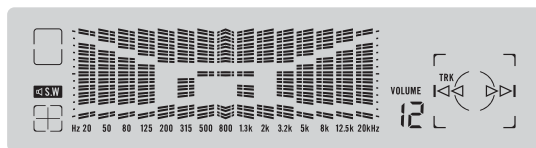
レベルメーター (ステレオ表示)



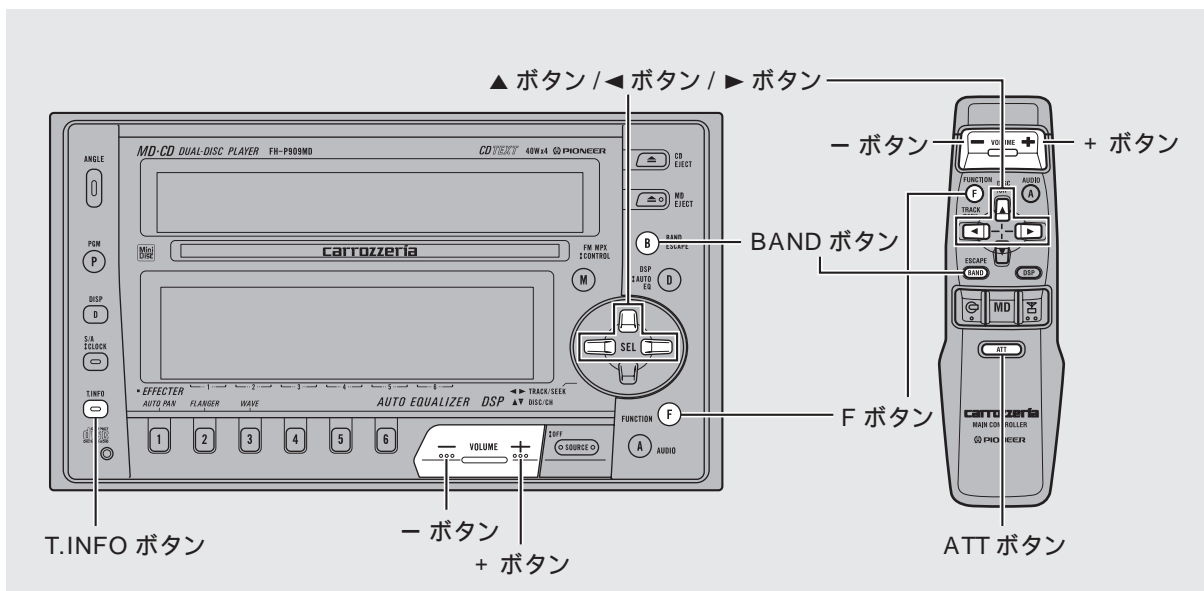
放射 (ステレオ表示)



シューティング (ステレオ表示)



ピークバウンドに戻る



9章 4 交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

T.INFOボタンを押す
交通情報を受信します。



2 放送に合わせて周波数を切り換える

- ◀または▶ボタンを押す
- ▶ : 1,629 kHzにするとき
- ◀ : 1,620 kHzにするとき

3 交通情報の受信をやめる

T.INFOボタンを押す
交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
交通情報では、他のソースとは別の音量を設定することができます。
交通情報を受信するとSFC (またはサウンドエフェクター) が一時的にOFFになり、イコライザーカーブはTI-EQ (交通情報用) になります。交通情報の受信をやめると、SFC (またはサウンドエフェクター) とイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

9章 5 瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

瞬時に音量を小さくする

ATTボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときは、“ATT” が点滅します。

メモ

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。
アッテネーターがONのときに+または-ボタンを押すと、アッテネーターは自動的にOFF (解除) になります。このときは、アッテネーターがONのときの音量に近い音量になります。

よく使う機能をソースごとに、PGMボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、内蔵CD/MDにポーズ、ラジオにBSM、マルチCDにポーズが学習されています。)

内蔵CD/MDのとき

1 プログラムファンクション設定モードにする

Fボタンを2秒以上押す



ラジオのとき

ラジオでは、初期設定のBSM以外の機能を学習させることはできません。PGMボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
BSM	OFF	ON

2 学習させたい機能を選ぶ

◀または▶ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

PAUSE (ポーズ) ←→ REPEAT (リピート)
↑ ↓ RANDOM (ランダム)



選ばれている機能が点滅します。

マルチCDのとき

マルチCDで、プログラムファンクション設定モードにするには、Fボタンを2秒以上押して詳細設定モードにしてから、Fボタンで選びます。(※ 6章-3 35ページ) マルチCDで学習できる機能と、PGMボタンを押したときの動作は、以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	-----
リピート	切り換え	-----
ランダム	ON/OFF	-----
タイトルリスト	タイトルリスト モードになる	-----
ITS	記憶	再生

3 選んだ機能を学習させる

▲ボタンを押す



点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。

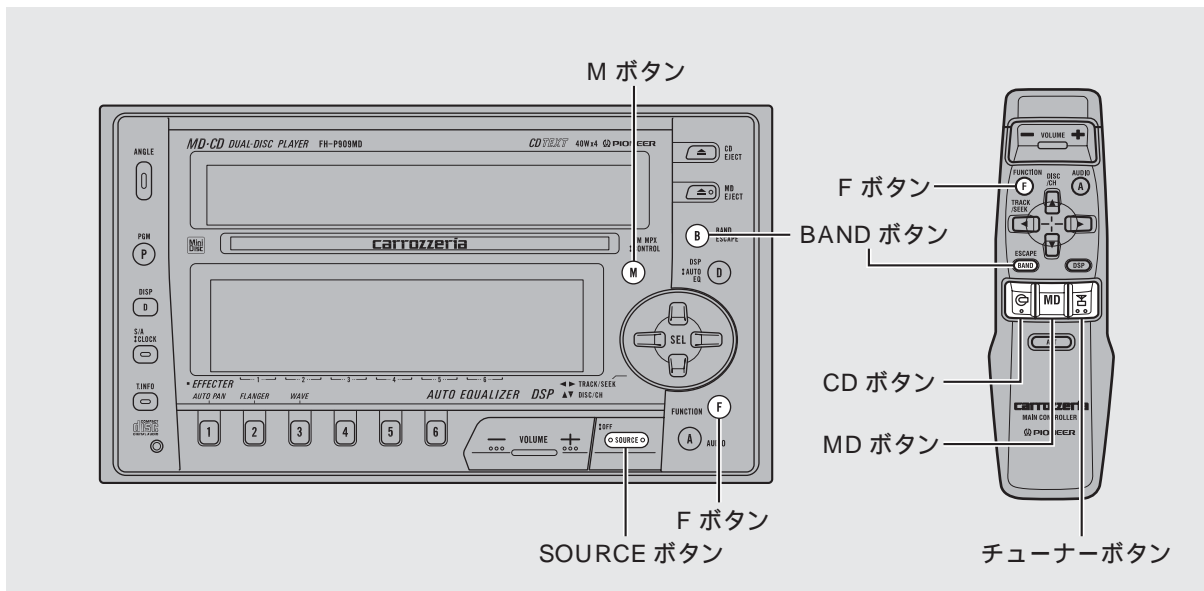
BANDボタンを押して、プログラムファンクション設定モードを解除してください。

4 学習させた機能を実行する

PGMボタンを押す

学習させた機能により、操作方法が以下のようになります。

学習できる機能	押す	2秒以上押す
ポーズ	ON/OFF	-----
リピート	ON/OFF	-----
ランダム	ON/OFF	-----



9章 FM放送の番組内容をFM多重で見る

FM放送番組内容表示

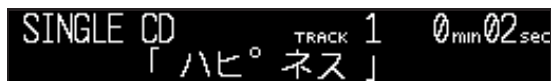
MDやCDなどのソース（ラジオのAM放送や交通情報を除く）を操作できる状態のまま、いまラジオのFM放送で放送されている番組の内容を、FM多重で見ることができます。

FM放送番組内容表示モードを切り換える

Mボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

1行表示



ヘッドタイトル（放送局名や番組名など）を約2秒間表示してから、ページを1行ずつ交互に切り換えて表示します。（表示切り換え時間の設定のしかた（※）9章-13 72ページ）



2行表示



ページを2行ずつ表示します。



ソース表示（通常の表示）



1行表示に戻る

メモ

FM放送の番組内容を見ているときに、この操作以外の操作をすると、FM放送番組内容表示モードは一度解除されますが、約15秒間でFM放送番組内容表示モードに戻ります。

ラジオのAM放送や交通情報を聞いているときは、FM放送番組内容表示を見ることができません。

受信電波が弱い場合は、「データが受信できません」とメッセージが表示されたり、ページが正しく表示されないことがあります。受信状態の良い場所へ移動するか、他のFM多重局を選局してみてください。

FM多重局を選局していなかったときは、「データが受信できません」と表示されます。FM多重局を選局してください。

（※）2章-5 16ページ

文字情報は2行で1ページです。

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源をOFFにする

SOURCEボタンを1秒以上押す

(☞ 2章-1 12ページ)

2 初期設定モードにする

電源がOFFのときに、Fボタンを2秒以上押す

3 初期設定モードを切り換える

Fボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

カレンダー・時計設定モード (☞ 9章-11 71ページ)

初めて使用するときは、正しい日付と時間に設定してください。

AUX (外部機器) モード (☞ 9章-14 73ページ)

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

RCA外部出力モード (☞ 9章-9 70ページ)

本機のRCA外部出力に外部アンプを接続した場合、外部アンプに接続するスピーカーに合わせてこの設定を切り換えます。

テレビ用オートアンテナモード (☞ 9章-18 75ページ)

パイオニア製のテレビ (7型ワイドAVシステムTV「AVX-P707W」など) を接続した場合、ソースをテレビにしたときも、車に装備されているオートアンテナをのばすことができます。

ディマーモード (☞ 9章-12 72ページ)

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

デジタルアッテネーターモード (☞ 9章-10 71ページ)

イコライザーカーブの設定による音の歪みをなくすことができます。

FM多重用オートアンテナモード (☞ 9章-17 75ページ)

本機の電源がONのときに、オートアンテナをのばしておくことにより、FM多重をすぐに見ることができます。

自動時刻補正モード (☞ 9章-15 74ページ)

FM多重を受信している場合、FM多重局からの時刻情報により自動的に時計の時刻を補正します。

FM放送内容表示切り換え時間設定モード (☞ 9章-13 72ページ)

いまラジオのFM放送で放送されている番組の内容を1行表示する (☞ 9章-7 68ページ) ときの表示切り換え時間を設定します。

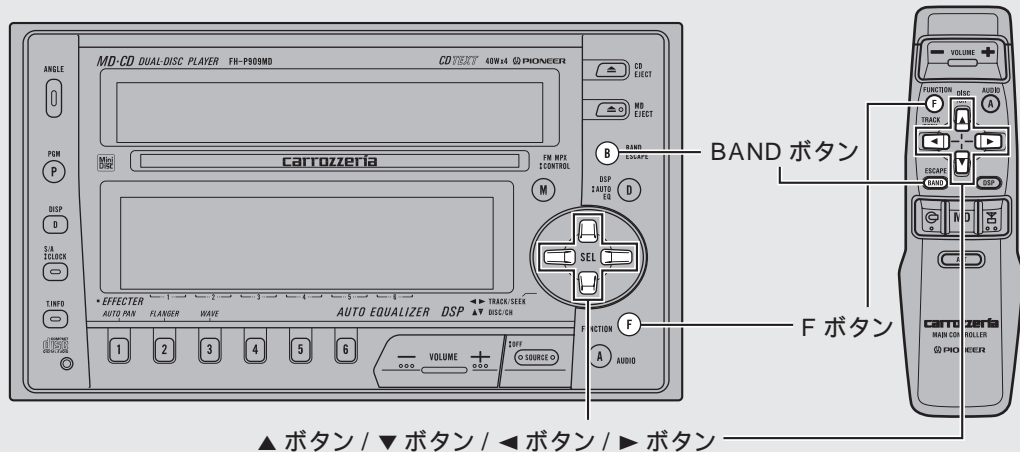
キーガイド音声設定モード (☞ 9章-16 74ページ)

音声によりキー操作の説明がされます。

カレンダー・時計設定モードに戻る

メモ

初期設定モードを解除するには、BANDボタンを押します。(解除すると電源がOFFになります。)



▲ボタン / ▼ボタン / ◀ボタン / ▶ボタン

9章-9 RCA外部出力から出力される信号を選ぶ

RCA外部出力

本機のRCA外部出力に外部アンプを接続した場合、外部アンプに接続するスピーカーに合わせてこの設定を切り換えます。初期設定は、サブウーファーになっています。

1 RCA外部出力モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (☞ 9章-8 69ページ)



2 接続するスピーカーに合わせて選ぶ

- ◀または▶ボタンを押す
- ▶: サブウーファーを接続するとき
- ◀: リアスピーカーを接続するとき



選ばれているRCA外部出力が、反転表示されます。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

リアスピーカーに設定したときは、サブウーファーの調節 (☞ 7章-4 52ページ) はできません。

設定を切り換えると、オートコライジング (☞ 8章-9 62ページ) の調節内容が自動的にリセットされます。再度オートコライジング調節を行ってください。

9章 10 音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの設定による音の歪みをなくすことができます。

デジタルアッテネーターについて

イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定をLに切り換えてください。

1 デジタルアッテネーターモードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (☞ 9章-8 69ページ)



2 設定を選ぶ

- ◀または▶ボタンを押す
- ▶: HIGH (ハイ) を選ぶとき
- ◀: LOW (ロー) を選ぶとき



選ばれているデジタルアッテネーターの設定が、反転表示されます。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

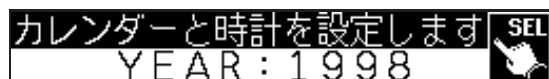
9章 11 日付と時間の設定

日付・時間設定

初めて使用するときは、正しい日付と時間に設定してください。

1 カレンダー・時計設定モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (☞ 9章-8 69ページ)



2 日付と時間を設定する

修正する部分を選ぶとき
◀または▶ボタンを押す

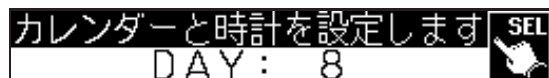
ボタンを押すごとに、年、月、日、時、分が順に切り換わります。



選ばれている部分と数字が、反転表示されます。

内容を修正するとき

- ▲または▼ボタンを押す
- ▲: 数字が増加します
- ▼: 数字が減少します



選ばれている部分と数字が、反転表示されます。

分 (MINUTE) を修正すると、0秒からカウントが始まります。

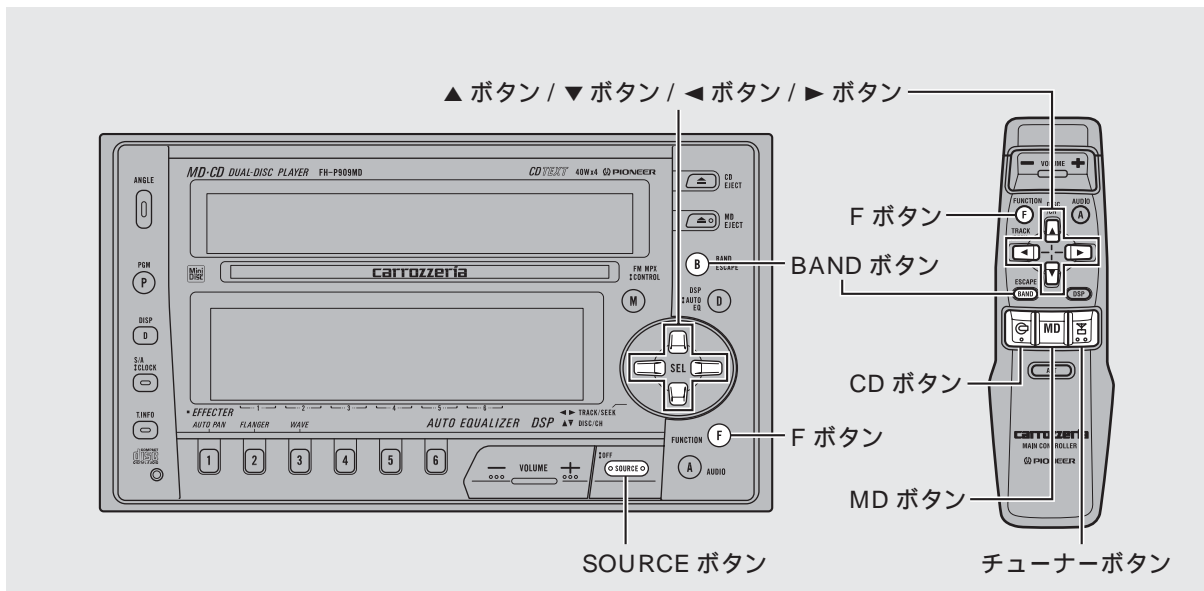
BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

年は1998年～2097年までの範囲内で設定できます。

9章

便利な機能と初期設定



9章 -12 夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。このディマーの設定は、OFFにすることができます。

1 ディマーモードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 9章-8 69ページ)

夜間のディスプレイの明るさを切り換える場合に設定します

2 ディマーの設定をOFFにする

▼ボタンを押す (▲ボタンでON)

夜間のディスプレイの明るさを切り換える場合に設定します

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

9章 -13 FM放送の番組内容をFM多重で1行表示するときの表示切り換え時間の設定

FM放送番組内容表示切り換え時間設定

いまラジオのFM放送で放送されている番組の内容を1行表示する (※ 9章-7 68ページ) ときの表示切り換え時間を設定します。

1 FM放送番組内容表示切り換え時間設定モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 9章-8 69ページ)

FM多重の表示切り換え時間を設定します : 1秒ごと

2 表示切り換え時間を選ぶ

- ◀または▶ボタンを押す
- ▶ : 多い秒数を選ぶとき
- ◀ : 少ない秒数を選ぶとき

FM多重の表示切り換え時間を設定します : 5秒ごと

1~5秒の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

多い秒数を選ぶと、1行目が表示されているページの2行目が表示されないうちに、次のページの1行目に切り換わってしまう場合があります。

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。

詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器)モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 9章-8 69ページ)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

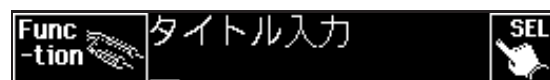
SOURCEボタンを押して選ぶ (※ 2章-1 12ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

4 外部機器の名称入力モードにする

Fボタンを2秒以上押す



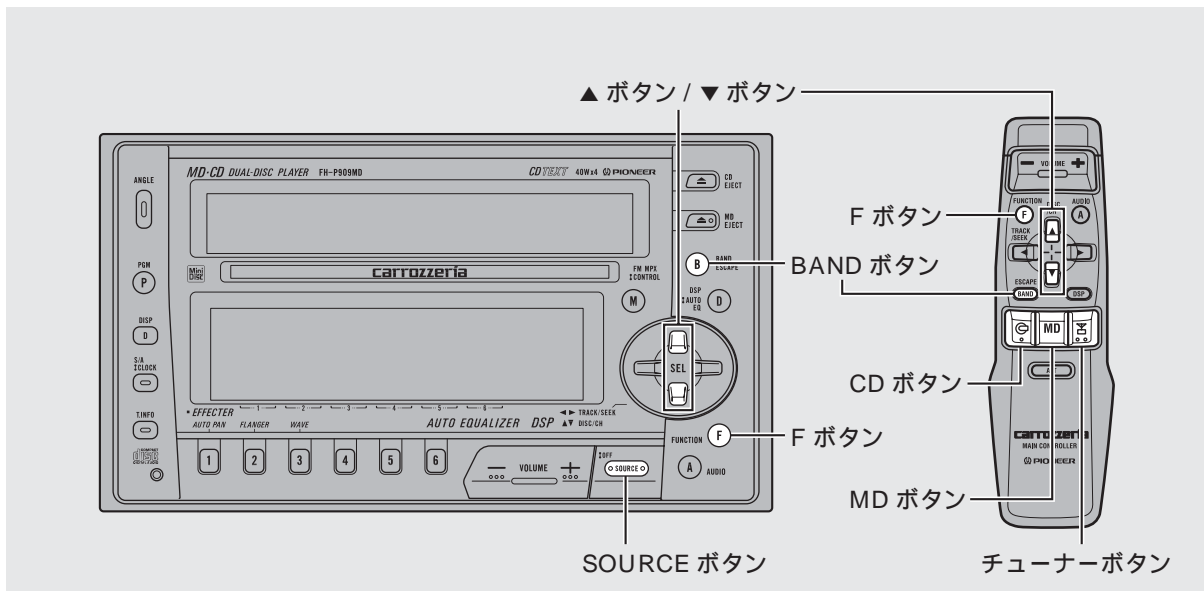
5 外部機器の名称を入力し、記憶させる (※ 6章-14 44ページ)

CDタイトル入力の手順3~5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

例) “DAT” を入力した場合



“NO TITLE” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。




9章 - 15 自動的に時刻を補正する

自動時刻補正

FM多重を受信している場合、FM多重局からの時刻情報により自動的に時計の時刻を補正します。この自動時刻補正の機能は、OFFにすることができます。


1 自動時刻補正モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 9章・8 69ページ)

FM多重データによる自動時刻補正を設定します 

2 自動時刻補正の設定をOFFにする

▼ボタンを押す (▲ボタンでON)

FM多重データによる自動時刻補正を設定します 

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

受信しているFM多重局によっては、時刻補正ができないことがあります。
受信電波が弱い場合は、補正されるまでに時間がかかったり、間違った時刻に設定することがあります。


9章 - 16 キーガイド音声の設定

キーガイド音声の設定

音声によりキー操作の説明がされます。このキーガイド音声の機能は、OFFにすることができます。


1 キーガイド音声設定モードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 9章・8 69ページ)

キーガイド音声を切り換える場合に設定します 

2 キーガイド音声の設定をOFFにする

▼ボタンを押す (▲ボタンでON)

キーガイド音声を切り換える場合に設定します 

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

9章 -17 FM多重用オートアンテナの設定

本機の電源がONのときに、オートアンテナをのばしておくことにより、FM多重をすぐに見ることができます。

FM多重用オートアンテナの設定について

設定がOFFの場合、ラジオを聞いているときとFM多重を見ているときだけ、オートアンテナがのびます。

設定をONにすると、本機の電源をONにしたときは、オートアンテナがのびようになります。この場合、FM多重を常に受信しているため、FM多重を見ようと思ったときにすぐに見ることができます。

1 FM多重用オートアンテナモードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 9章-8 69ページ)

オートアンテナをFM多重優先に設定します (常時作動) 

2 FM多重用オートアンテナの設定をONにする

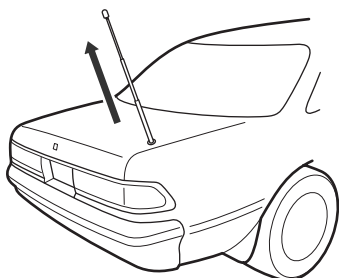
▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)

オートアンテナをFM多重優先に設定します (常時作動) 

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 電源をONにする

SOURCEボタンを押す (※ 2章-1 12ページ)



オートアンテナがのびようになります。

9章 -18 テレビのときにオートアンテナをのばす

テレビ用オートアンテナの設定

パイオニア製のテレビ (7型ワイドAVシステムTV「AVX-P707W」など) を接続した場合、ソースをテレビにしたときも、車に装備されているオートアンテナをのばすことができます。

テレビ用オートアンテナの設定について

設定がOFFの場合、ラジオを聞いているときとFM多重を見ているときだけ、オートアンテナがのびます。

設定をONにすると、ソースをテレビにしたときも、オートアンテナがのびようになります。ラジオとテレビでオートアンテナを共用するときは、設定をONにしてください。

1 テレビ用オートアンテナモードにする

電源OFFのときにFボタンを2秒以上押してから、さらにFボタンを押して選ぶ (※ 9章-8 69ページ)

テレビの時にオートアンテナを使用する場合に設定します 

2 テレビ用オートアンテナの設定をONにする

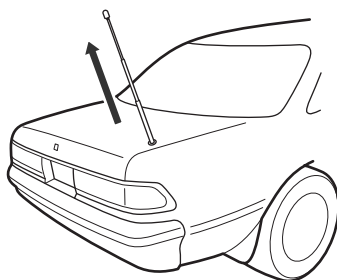
▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)

テレビの時にオートアンテナを使用する場合に設定します 

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをテレビにする

SOURCEボタンを押して選ぶ (※ 2章-1 12ページ)



オートアンテナがのびようになります。

10章 CDの正しい使いかた

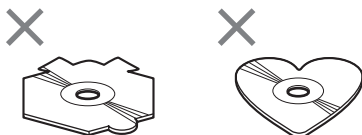
-1

使用できるCDについて

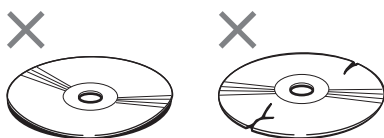
本機では、下記マークの付いているコンパクトディスク(光学式デジタルオーディオディスク)をお使いください。



特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

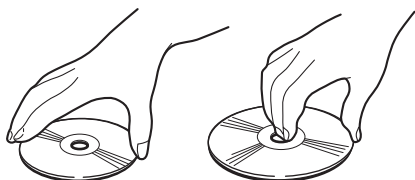


ひび、キズ、そのあるCDは使用しないでください。



取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



CDにキズを付けしないでください。
CDに紙やシールなどを貼り付けしないでください。

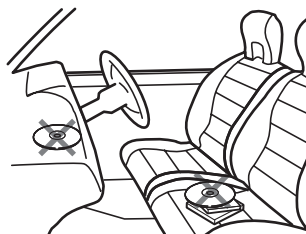


メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

保管上のご注意

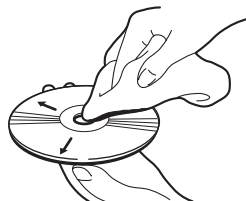
CDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、CDの内側から外側へ軽くふいてください。



CDに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、CDには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。CDに付いたつゆは、柔らかい布でふいてください。

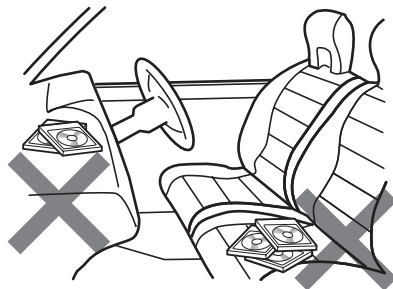
取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。



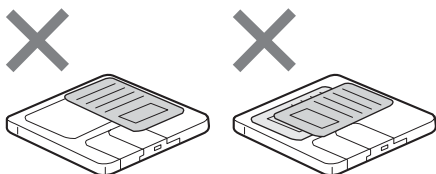
ラベルについて

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。

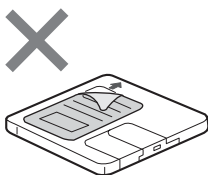


ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽くふいてください。

MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



MD再生の環境について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのを待ちください。MDのカートリッジ表面に付いたつゆは、柔らかい布でふいてください。

MDのエラー表示

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
ERROR-11,12,17,30	MDが汚れている。 MDにキズやひびがある。	他のMDと交換してください。
ERROR-20,21	振動などが原因で曲の情報を読みとれなかった。 MDに異常 (損傷している、TOCが入っていないなど) がある。	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
ERROR-22,24	MDに異常 (損傷している、TOCが入っていないなど) がある。	他のMDと交換してください。
ERROR-23	音楽以外の情報が記録されたMDを使用した。	音楽が録音されたMDを使用してください。
ERROR-01,11,12,17,30,A0	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生にしてください。
ERROR-A1	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	MD再生を一度やめて、リセットボタンを押し (☞ 1章-5 9ページ)、もう一度MD再生にしてください。
ERROR	MDが何らかの原因で再生しない。	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 (☞ 1章-5 9ページ)
HEAT	本機の内部温度が高い。	内部温度が下がるまでお待ちください。

FM多重のエラー表示

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処 置
このページは表示できません	ページの情報量が多いとき	本機では表示できません。他のページに切り換えてください。(☞ 2章-5 16ページ)

CDのエラー表示

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
ERROR-11,12,17,30	CDが汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (<small>☞</small> 10章-1 76ページ)
	CDにキズやひびがある。	他のCDと交換してください。
ERROR-20,21	振動などが原因で曲の情報を読みとれなかった。	CDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のCDと交換してください。
	CDに異常 (損傷している、TOCが入っていないなど) がある。	
ERROR-14	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用している。	追記型CD (CD-R) は録音してからお使いください。
ERROR-10,11,12,14,17,30,A0	本機の電気系、機構系の故障が考えられる。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめて、もう一度CD再生にしてください。
HEAT	本機の内部温度が高い。	内部温度が下がるまでお待ちください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

オートイコライジング機能のエラー表示

オートイコライジング機能によって、車室内の音響特性を正常に測定できないときは、下記のエラーコードが表示されます。内容を確認して、もう一度操作をやりなおしてください。

メッセージ (エラー番号)	原 因	処 置
マイクを確認して下さい	マイクが接続されていない。	付属のマイクをきちんと差し込んでください。 (<small>☞</small> 8章-9 62ページ)
スピーカーを確認して下さい	スピーカーの計測音がマイクでひろえない。	ソースを切り換えて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。
		付属のマイクを正しくセットしてください。
測定エラーです	周囲の騒音レベルが高すぎる。	なるべく静かな所に車を停車させ、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めてください。
		付属のマイクを正しくセットしてください。

10章-4 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら
修理を依頼される前に、次の表の内容
をチェックしてください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットしてください。
(☞ 1章-5 9ページ)

それでも直らないときは
保証書とアフターサービス (☞
10章-5 82ページ) をお読みになり、
修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ 2章-2 13ページ) (☞ 2章-3 14ページ) (☞ 2章-4 15ページ) (☞ 2章-6 18ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ 9章-5 66ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 7章-6 53ページ)
前または後のスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 7章-6 53ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 7章-6 53ページ)
メインコントローラーがきかない。	電池が弱っている。	電池を交換してください。 (☞ 1章-4 9ページ)
	電池の向きを逆に入れてある。	正しく入れてください。 (☞ 1章-4 9ページ)
	足元やシートに向けて操作している。	本体に向けて操作してください。
	本体に直射日光が当たっている。	本体にメインコントローラーを近づけて操作してください。
	スイッチの位置が正しく設定されていない。	スイッチを“H/A DSP”の位置に設定してください。(☞ 1章-4 9ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ 2章-4 15ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ 2章-4 15ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ 2章-4 15ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CDが入らない。	別のCDがすでに入っている。	CDを取り出してから入れてください。 (☞ 2章-2 13ページ)
音が飛ぶ。 音がとぎれる。 大きな雑音が出る。 再生が途中で止まる。	CDが汚れている。 CDに傷がついている。 CDに大きなそりがある。 CDにくもりや水滴がついている	クリーニングしてください。 (☞ 10章-1 76ページ) 他のディスクに交換してください。
CDを入れてもすぐに出てくる。	CDの裏表を逆にセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。 (☞ 2章-2 13ページ)
CDの音がとぎれる。	CDにラベルやセロテープ等を貼っている。	きれいにはがしてください。 (☞ 10章-1 76ページ)
ディスプレイにエラー表示が出る。	CDプレーヤーに異常が発生した。	CDのエラー表示を参照して内容を確認してください。(☞ 10章-3 79ページ)

MD

症 状	原 因	処 置
大きな雑音が出る。 再生がストップしてしまう。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDにくもりや水滴がついている	
	購入したばかり、または全曲を消去した録音用MDを挿入した	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。(☞ 2章-3 14ページ)
ディスプレイにエラー表示が出る。	MDプレーヤーに異常が発生した。	MDのエラー表示を参照して内容を確認してください。(☞ 10章-3 78ページ)

保証書	<p>保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。</p> <p>保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。</p>
保証期間	<p>この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。</p>
保証期間中の修理について	<p>万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。</p>
保証期間経過後の修理について	<p>お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。</p>
補修用性能部品の最低保有期間	<p>当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)</p>
ご質問、ご相談は	<p>本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター (I・C) をご利用ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。</p>

CDプレーヤー部

形式	: コンパクトディスク オーディオシステム
使用ディスク	: コンパクトディスク
信号フォーマット	: サンプリング周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16ビット直線
周波数特性	: 5 ~ 20,000 Hz (±1 dB)
S/N	: 96 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミックレンジ	: 94 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

MDプレーヤー部

形式	: ミニディスクデジタル オーディオシステム
使用ディスク	: ミニディスク
信号フォーマット	: サンプリング周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16ビット直線
周波数特性	: 20 ~ 20,000 Hz (±1 dB)
S/N	: 90 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミックレンジ	: 91 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

FMチューナー部

受信周波数帯域	: 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度	: 11 dBf (0.8 μV/75 、 モノラル、S/N: 30 dB)
S/N 50 dB感度	: 16 dBf (1.1 μV/75 、モノラル)
S/N	: 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率	: 0.3 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性	: 30 ~ 15,000 Hz (±3 dB)
ステレオ	
セパレーション	: 40 dB (65 dBf入力、1 kHz)
実用選択度	: 70 dB (2ACA)

多重チューナー部

受信周波数帯域	: 76.1 ~ 89.9 MHz
多重方式	: DARC方式

AMチューナー部

受信周波数帯域	: 522 ~ 1,629 kHz (±9 kHz)
実用感度	: 18 μV (S/N: 20 dB)
実効選択度	: 50 dB (±9 kHz)

アンプ・共通部

最大消費電流	: 10.0 A
最大出力	: 40 W × 4
定格出力	: 20 W × 4 (50 ~ 15,000 Hz、5 %)
ラウドネスコンター	: 5 dB (100 Hz)、4 dB (10 kHz) (ボリューム: -30 dB)
負荷インピーダンス	: 4 (4 ~ 8 使用可能)
プリアウト出力レベル	: 500 mV
出力インピーダンス	: 1 k
使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
外形寸法	(取付寸法): 178 (W) × 100 (H) × 160 (D) mm (ノーズ寸法): 169 (W) × 94 (H) × 18 (D) mm
質量	: 3.0 kg (コードユニット含まず)

オーディオ部

13バンド イコライザー周波数	: 50 Hz、80 Hz、125 Hz、 200 Hz、315 Hz、500 Hz、 800 Hz、1.3 kHz、2 kHz、 3.2 kHz、5 kHz、8 kHz、 12.5 kHz、
--------------------	--

13バンド イコライザー調整幅	: ±12 dB
サブウーファー クロスオーバー 周波数	: 50 Hz、80 Hz、125 Hz
サブウーファー クロスオーバー スロープ	: -18 dB/oct.
サブウーファー クロスオーバー スロープ調整幅	: ±12 dB

付属品

メインコントローラー	: 1
単4形乾電池 (R03)	: 2
マイク	: 1
コードユニット	: 1
取付ネジ類	: 1式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・ 修理窓口のご案内	: 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。本機は、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンスングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

索引

あ～お

アイコン登録	32
アイコン呼び出し	33
アッテネーター	66
アングル調節	64
イコライザーカーブ	55
イコライザー調節	57
位相切り換え	52
エクストラトレイ	48
演奏頻度別再生	47
オートアンテナ	75
オートイコライジング	60
オートイコライジング機能のエラー表示	79
オートイコライジングの調節	62
音場プログラム	59
音量バランス	53

か～こ

外部機器	73
カットオフ周波数	53
画面記憶	28
乾電池	9
キーガイド音声	11
キーガイド音声の設定	74
キーガイド表示	7
緊急放送	17
グラフィックイコライザー	55
グループ分け	42
交通情報	66

さ～そ

再生範囲	21,36
サウンドエフェクター	56
サブウーファー	52
サブウーファー調節	53
自動時刻補正	74
自動選局	15
手動選局	15
乗車位置	54
スキャン再生	21
スペアナ表示	65
選局	15,16
ソース切り換え	12

た～と

タイトル頭文字検索	46
タイトル記憶	22,44
タイトル入力	22,44
タイトルリスト	45
ダイバーシティ	26
ダイレクトサーチ	34
チューナーボタン	12
ディスクスキャン再生	37
ディスクリピート	36
ディスプレイ切り換え	49
ディスプレイ部分(下)	7
ディマーの設定	72
デジタルアッテネーター	71
テレビ用オートアンテナの設定	75
デモモード	6
電源OFF	12
電源ON	12
電池交換	9
時計設定	71
時計表示	64
トラックスキャン再生	37
トラックリピート	36
トラフィックインフォメーション	66

な～の

ニュアンスコントロール	58
-------------	----

は～ほ

早送り/早戻し	13,14
バランス	53
バンドを選ぶ	15
日付・時間設定	71
日付・時間表示	64
フェーダー	53,59
ふだん使う機能	10
プリセットメモリー	24
プリセットチューニング	25
プログラムファンクション	67
放送局名記憶	27
放送局名表示	26
ポーズ	21,48
ポジションマーク	54

I N D E X

ま～も

マーク	8
マルチCDリピート	36
マルチCDを聞く	18
ミュージックグループ別記憶	42
ミュージックグループ別再生	43
ミュージックグループ別消去	43
メインコントローラー	6, 9
メインコントローラースイッチ	9

ら～ろ

ラウドネス	51
ラジオを聞く	15
ラフサーチ	34
ランダム再生	21, 38
リスニングポジションセレクター	54
リセット	9
リセットボタン	9
リピート再生	36

0～9

1～6のボタン	16, 19, 24, 25, 30～34, 55～59
---------	------------------------------

A～Z

Aボタン	50
AFサーチ	33
ANGLEボタン	64
ATTボタン	66
AUX	73
BANDボタン	10, 15, 18, 48
BSM	24
CDイジェクト	48
CD再生	13
CDシングル	13
CD挿入口	13
CDのエラー表示	79
CDのお手入れ	76
CDボタン	12
CDを聞く	13
CD EJECTボタン	13
CD TEXT	8, 23, 49
CLOCKボタン	64
COMP	21, 47
Dボタン	21, 23, 26, 49
DBE	21, 47

DSPボタン	19, 54, 57, 62
Fボタン	20, 22, 25, 29, 35, 67, 69
FMダイバーシティ	26
FM多重 (FM文字多重放送)	8
FM多重局オートサーチ	31
FM多重局プリセットチューニング	31
FM多重局プリセットメモリー	30
FM多重局BSM	30
FM多重のエラー表示	78
FM多重用オートアンテナの設定	75
FM多重を見る	16
FM放送番組内容表示	68
FM放送番組内容表示切り換え時間設定	72
ITS	39
ITS再生	40
ITS消去	41
ITS登録	39
Mボタン	16, 68
MD再生	14
MD挿入口	14
MDのエラー表示	78
MDのお手入れ	77
MDのタイトル表示	21
MDボタン	12
MDを聞く	14
MD EJECTボタン	14
PGMボタン	28, 67
RCA外部出力	70
S/Aボタン	65
SFC/SFCフェーダー	59
SLA	51
SOURCEボタン	12
T.INFOボタン	66
VOLUMEボタン	13～15, 18



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

< 98E00F0P01 >

© パイオニア株式会社 1998

< CRA2511-A >

お客様ご相談窓口 (修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』参照)

お客様相談センター TEL 03-3491-8181

技術相談窓口	札幌	TEL 011-644-4779	大阪	TEL 06-353-3705
	仙台	TEL 022-375-4417	広島	TEL 082-228-2239
	名古屋	TEL 052-532-1141	福岡	TEL 092-441-8076

 **パイオニア株式会社**

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号